
米代川

Noshiro River and National Highway Office

2026
事業概要
Outline of Projects


きみまち阪ＩＣ


森吉山ダム

国土交通省 東北地方整備局

能代河川国道事務所

事務所概要 2026

もくじ

事務所概要

もくじ …… 1
秋田県北地域のすがた …… 2
事務所の沿革・予算・組織 …… 3

河川事業 米代川

河川事業の目的 …… 4
米代川河川改修事業 …… 5
米代川 能代地区河道掘削事業
米代川水系流域治水プロジェクト
河川調査 …… 8
河川管理 …… 8
森吉山ダムの管理 …… 9
事前放流 …… 9
森吉山ダムのはたらき …… 10

道路事業 一般国道７号、105 号、秋田自動車道

道路事業の概要 …… 11
二ツ井今泉道路、大覚野峠防災 …… 12
交通安全対策事業・電線共同溝事業 …… 14
種梅入口交差点改良、荷上場地区交差点改良、森岳入口北交差点改良
釈迦内交差点改良、港湾入口交差点改良、森岳地区ゆずりあい車線整備
電線共同溝整備（豊町地区、桂城地区、有浦地区、豊祥岱地区）
道路管理 …… 22
日本海沿岸東北自動車道の整備効果 …… 23
快適で円滑な交通の確保（渋滞対策・道路調査） …… 24

地　域

水辺を活用した地域活性のとりくみ …… 25
地域とのコミュニケーション …… 25

出張所

出張所の紹介 …… 26

防災対策

防災対策への取り組み …… 28
災害支援活動 …… 29

その他

その他の取り組み紹介 …… 30
日本風景街道～のしろ白神の道～

広　報

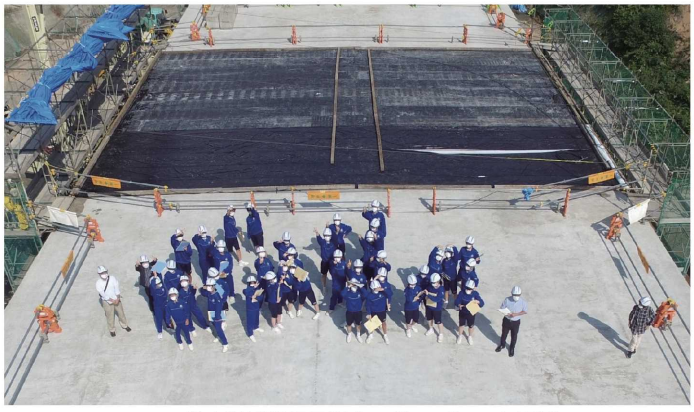
能代河川国道事務所ホームページ …… 33
地域の情報発信 ～道の駅、森吉山ダム広報館～ …… 34



国道７号での能代バイパス黒松友の会による春の剪定講習会の様子



地元小学生を対象とした「米代川調査隊」による水生生物・水質簡易調査の様子



二ツ井中学校現場見学会の様子（切石高架橋）



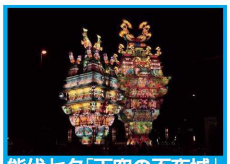
釈迦内小学校「冬にはたらく車を見てみよう」学習会の様子

秋田県北地域のすがた

秋田県北地域は大館、鷹巣、花輪の３つの盆地と能代平野、４市４町１村の全９市町村から構成され、秋田県全面積の 38%の約 4,400km2、人口は約 19 万人で秋田県全人口の約 21% を占めています。北西部に白神山地が広がり、東西を米代川が流れるなど自然豊かで伝統・文化が息づく地域です。

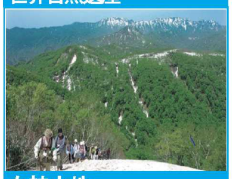


はちもり観光市
八森沖で捕れた新鮮な魚介類などを販売しています。ハタハタの季節はその味を求め多くの人々で賑わいます。

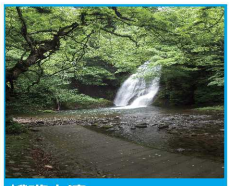


能代七夕「天空の不夜城」
夏の夜空に浮かび上がる大型灯籠が街を練り歩く姿は見る者を圧倒します。

世界自然遺産



白神山地
豊かなブナ原生林は多くの動植物を育み、ツキノワグマやニホンカモシカといった大型の哺乳類やグマゲラなどの鳥類が生息しています。またブナ原生林が湛える水は周辺の水源として昔から使われており、人々の生活とも関わってきました。白神山地はその周辺に住む人々や動植物にとって源であり、象徴だといえます。



峨瓏大滝
春は新緑、夏は清涼で秋は紅葉、冬は凍りついた滝となり、四季折々の顔を持つ人気スポットとなっています。



大館市観光交流施設「秋田犬の里」
令和元年５月８日に、大館市に「秋田犬の里」がオープンいたしました。愛犬とくつろげる２，７７４平方メートルの広場のほか、１１２台分の駐車場も完備しています。令和２年、秋田犬の忠犬ハチを縁に東京渋谷から「青ガエル」が移設されました。

世界無形文化遺産

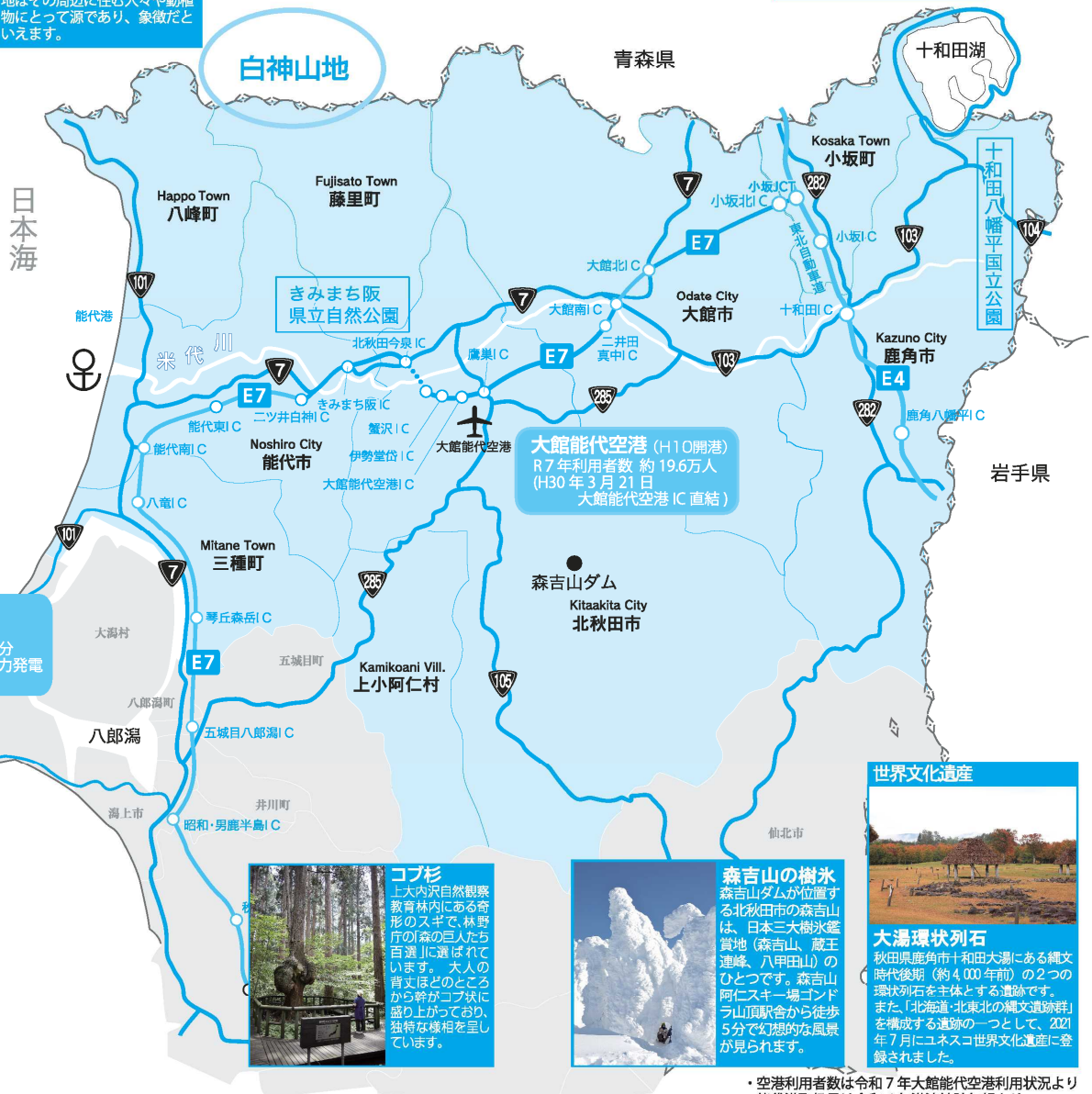


花輪ばやし
花輪の産土神、幸稲荷神社の祭礼ばやしとして奉納されるもので、豪華絢爛な 10 台の屋台が若者の熱気あふれるお囃子に乗って夜通し町を練り歩く行事です。起源は平安末期と言われ、「日本三大ばやし」のひとつに数えられています。
国内では「花輪祭の屋台行事」として国の重要無形民俗文化財に指定され、 2016 年 12 月にはユネスコ世界無形文化遺産に登録されました。

世界文化遺産



伊勢堂岱遺跡
秋田県北秋田市脇神にある縄文時代後期（約 4,000 年前）の環状列石を主体とする遺跡です。
国内では唯一、４つの環状列石が発見され、遺跡の保存状態がよく、縄文人の世界観や社会構造を復元できる貴重な遺跡として学術的価値が高いことから、2001 年１月に国の史跡に指定されました。また、「北海道・北東北の縄文遺跡群」を構成する遺跡の一つとして、2021 年７月にユネスコ世界文化遺産に登録されました。



大館能代空港（H10開港）
R７年利用者数 約 19.6万人
(H30 年３月 21 日
大館能代空港 IC 直結）

能代港
R６年取扱量約 476 万 t
能代港～能代南 IC 約 7.1km 約８分
R4 年 12 月より港内の大型洋上風力発電による商業運転開始



サンドクラフト in みたね
日本海に面した三種町の恵まれた自然を生かし、環境省認定日本の海水浴場百選の釜石浜海水浴場で繰り広げる、砂像制作展示イベントです。

コブ杉
上大内沢自然観察教育林内にある奇形のスギで、林野庁の「森の巨人たち百選」に選ばれています。 大人の背丈ほどのところから幹がコブ状に盛り上がっており、独特な様相を呈しています。

森吉山の樹氷
森吉山ダムが位置する北秋田市の森吉山は、日本三大樹氷鑑賞地（森吉山、蔵王連峰、八甲田山）のひとつです。森吉山阿仁スキー場ゴンドラ山頂駅舎から徒歩５分で幻想的な風景が見られます。

世界文化遺産

大湯環状列石
秋田県鹿角市十和田大湯にある縄文時代後期（約 4,000 年前）の２つの環状列石を主体とする遺跡です。
また、「北海道・北東北の縄文遺跡群」を構成する遺跡の一つとして、2021 年７月にユネスコ世界文化遺産に登録されました。

・空港利用者数は令和７年大館能代空港利用状況より
・能代港取扱量は令和６年港湾統計年報より

■ 秋田県北地域の面積・人口・高齢化率

市町村名	面積(km²)	人口(人)	高齢化率(%)
能　代　市	427.18	45,006	44.2 %
三　種　町	247.98	13,255	51.4 %
八　峰　町	234.14	5,681	53.7 %
藤　里　町	282.13	2,484	56.3 %
大　館　市	913.22	63,213	41.8 %
北 秋 田 市	1,152.76	26,650	48.5 %
上 小 阿 仁 村	256.72	1,696	59.0 %

市町村名	面積(km²)	人口(人)	高齢化率(%)
鹿　角　市	707.52	25,743	44.5 %
小　坂　町	201.70	4,226	47.1 %
秋田県北地域	4,423.35	187,954	44.6 %
秋　田　県	11,637.69	881,992	40.3 %

・面積は、令和７年全国都道府県市町村面積調より（令和８年１月１日時点）（国土地理院技術資料）
・人口は、「秋田県の人口と世帯（月報）」より（令和７年７月１日現在）
・高齢化率は、令和７年度 老人月間関係資料より（令和７年７月１日現在）

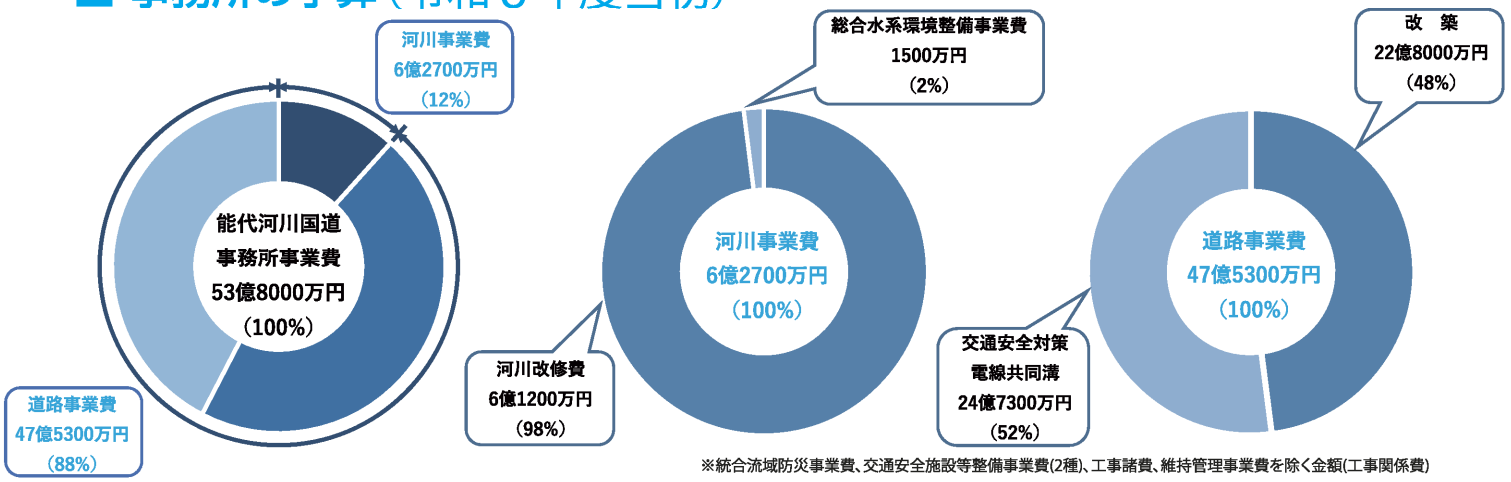
事務所の沿革・予算・組織

■ 事務所の沿革

能代河川国道事務所は、昭和 11 年７月秋田県北部の米代川改修のため、建設省の前身である旧内務省仙台土木出張所の「米代川改修事務所」として、能代港町（現能代市）に設置されました。

その後、幾多の統廃合を経て昭和 34 年４月に東北地方建設局能代工事事務所となり、米代川、一般国道７号の整備・管理を受け持つ総合事務所となりました。平成 15 年４月に国土交通省東北地方整備局能代河川国道事務所に名称変更になり、平成15年11月25日に現在の庁舎に移転し現在に至っています。

■ 事務所の予算（令和８年度当初）



※統合流域防災事業費、交通安全施設等整備事業費(2種)、工事諸費、維持管理事業費を除く金額(工事関係費)

■ 事務所の組織

事　務　所　長

- 副　所　長（事務）
- 副　所　長（河川）
- 副　所　長（道路）
- 契約事務管理官
- 事　業　対　策　官
- 保　全　対　策　官
- 技術情報管理官
- 建　設　専　門　官
- 専　門　調　査　官
- 指　導　官

令和８年４月１日現在

	H29	H30	R１	R２	R３	R４	R５	R６	R７	R８
職員数	84名	80名	79名	82名	84名	85名	84名	81名	76名	77名

総　務　課	職員の給与・旅費・福利厚生・事故防止の事務及びその他の事務を担当
経　理　課	予算管理、物品管理、国有財産の管理、支払、歳入徴収、工事・役務・購入契約を担当
用　地　課	事業に必要な土地等の用地調査業務、土地の取得、物件移転等の補償業務などを担当
工務第一課	米代川の堤防、水門、樋門等に係わる計画設計及び工事発注を担当
工務第二課	「日沿道二ツ井今泉道路」、「大覚野峠防災」の設計や工事発注、及び管内の機械・電気設備に関する業務
流域治水課	米代川に関わる調査・計画・洪水予報・河川に係る広報などを担当
調　査　課	管内の一般国道７号と日沿道に関わる調査・設計、道路に係る地域づくり、広報、日本風景街道などを担当
河川管理課	米代川の管理及び占用の許認可事務、河川・ダム管理施設の維持修繕などを担当
道路管理課	一般国道７号（三種町～大館市）と秋田道（能代南 IC ～二ツ井白神 IC、きみまち阪 IC ～北秋田今泉 IC、蟹沢 IC ～小坂北 IC）の管理、維持修繕・交通安全対策・電線共同溝や道路占用、特殊車両許認可事務などを担当
二ツ井出張所	河口から能代市二ツ井町までの米代川本川（36.5km）と支川藤琴川（1.4km）の維持管理・許認可事務を担当
鷹巣出張所	北秋田市今泉から大館市比内町扇田までの米代川本川（35.9km）と支川小猿部川（1.8km）の維持管理・許認可事務を担当
森吉山ダム管理支所	森吉山ダムの施設及び貯水池周辺の維持管理や防災操作、ダム貯水池周辺の許認可事務を担当
大館国道出張所	一般国道７号（北秋田市～大館市）47.0km と秋田道（きみまち阪 IC ～北秋田今泉 IC、蟹沢 IC ～小坂北 IC）46.3km の維持・管理を担当
能代国道維持出張所	一般国道７号（三種町～能代市二ツ井町）51.8kmと秋田道（能代南I.C～二ツ井白神I.C）17.4kmの維持・管理を担当

河川事業の目的

～杉香る悠久の流れと豊かな自然と人が織り成す米代川～

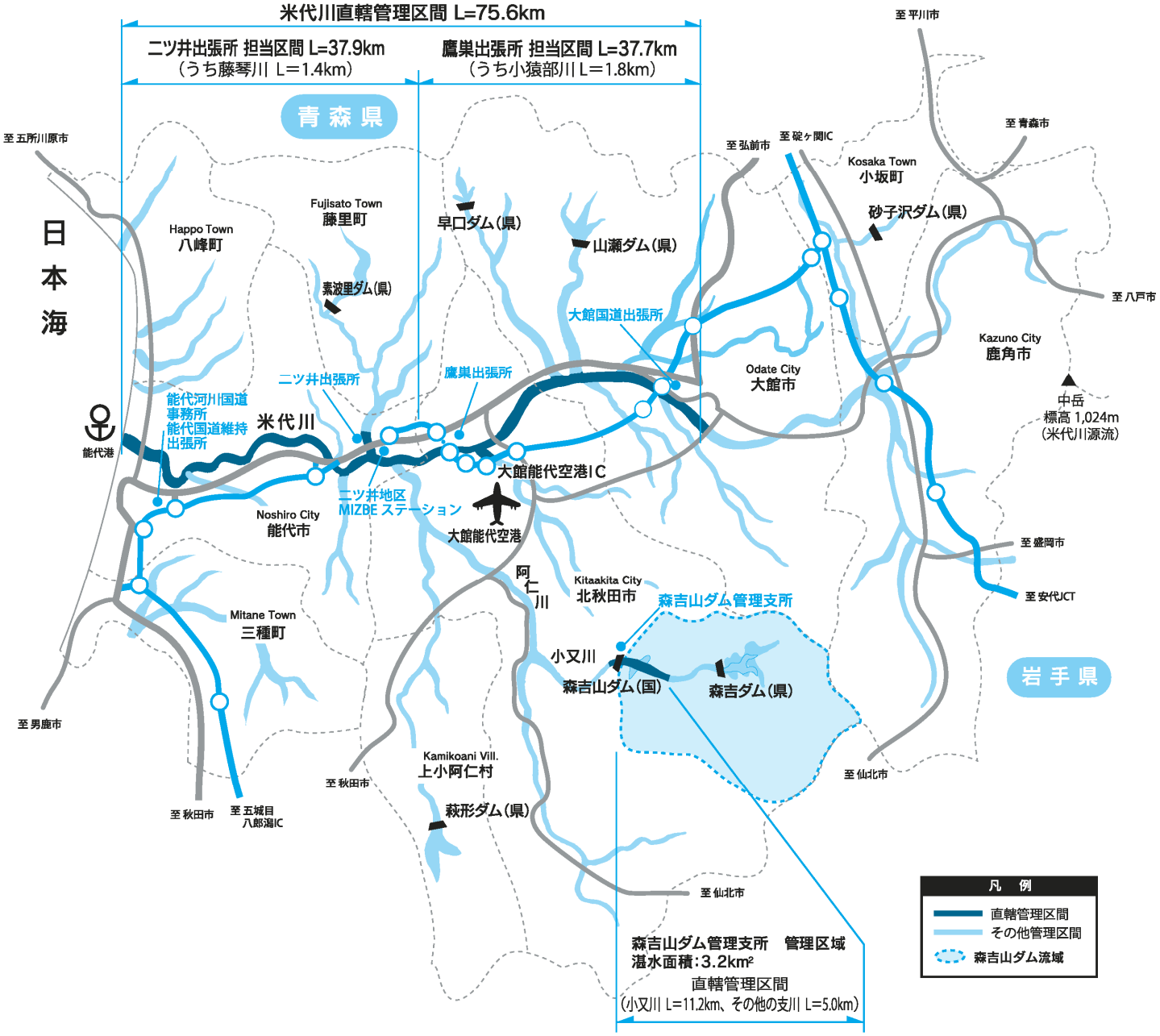
米代川は、秋田県、青森県、岩手県の３県境付近に位置する中岳（なかだけ）（標高 1,024m）にその源を発する、流域面積 4,100km2、幹川流路延長 136km の一級河川です。

うち、当事務所では米代川河口から大館市比内町扇田（扇田橋上流部）までと、藤琴川、小猿部川の一部区間を含む 75.6km を管理しています。

当該事務所の河川改修は、昭和 11 年に河口～能代市二ツ井切石地区までの延長 L=26km について国直轄事業として着手し、河道掘削や築堤等を行ってきました。その後、昭和 23 年には大館市まで（L=72.4km）改修区間が延長され、築堤を中心とした改修工事を実施してきました。

さらに、昭和 47 年 7 月の戦後最大規模の大洪水を契機として、森吉山ダム、築堤、河道掘削、内水対策等の事業を実施してきました。

令和 6 年 1 月には、気候変動の影響による降雨量の増大を踏まえ、「米代川水系河川整備計画」の見直しを行いました。また、流域治水について、取り組みの加速化、深化を目的として、令和 6 年 3 月に「流域治水プロジェクト 2.0」として米代川水系流域治水プロジェクトの更新を実施。流域のあらゆる関係者が一体となって、ハード・ソフト対策を推進します。



米代川（よねしろ）河川改修事業

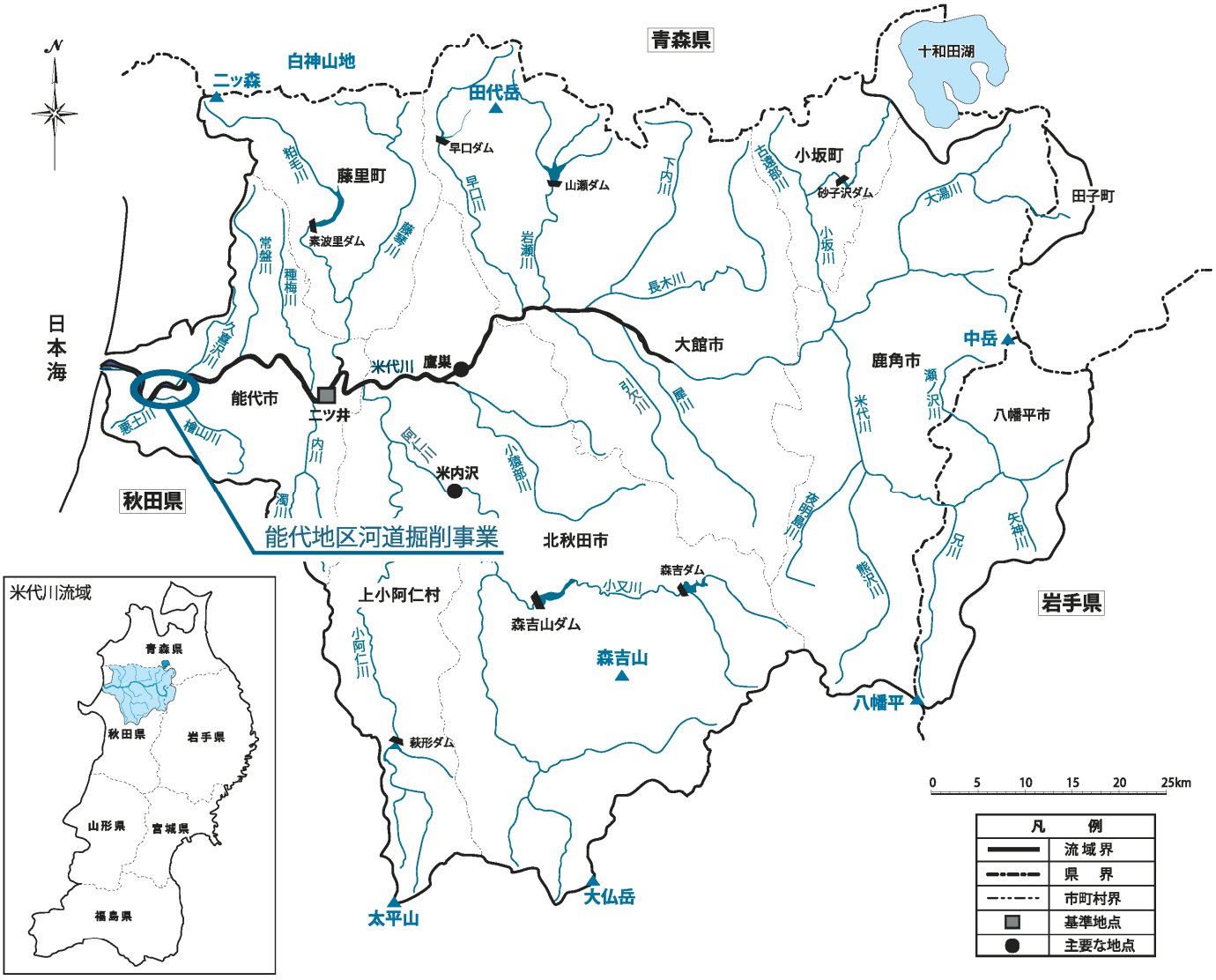
事業概要

令和６年１月に見直しを行った「米代川水系河川整備計画」に基づき、土地利用や地域特性を踏まえた治水対策や河道掘削等を実施します。

進捗状況

令和８年度は、流下能力を向上させるため、能代地区において河道掘削を行います。

令和８年度事業予定箇所



将来のすがた

○安全・安心の川づくり

米代川では古くから洪水の被害に見舞われている一方、渇水も発生しています。昭和47年7月には、全川にわたる氾濫により甚大な被害をもたらした大規模な洪水が発生したのに対し、翌年の昭和48年7月には記録的な渇水となり各地で被害が生じています。このような水害や渇水の歴史を踏まえ、水害や渇水被害の少ない安全で安心できる川づくりを目指します。

○豊かな自然を次世代に引き継ぐ川づくり

米代川は、動植物の生息・生育の場として重要な河道内の土砂堆積、河畔林及び瀬・淵などが数多く存在しています。このような豊かな自然環境や良好な河川景観に対して適宜モニタリングを行い、これらを次の世代に引き継ぐ川づくりを目指します。

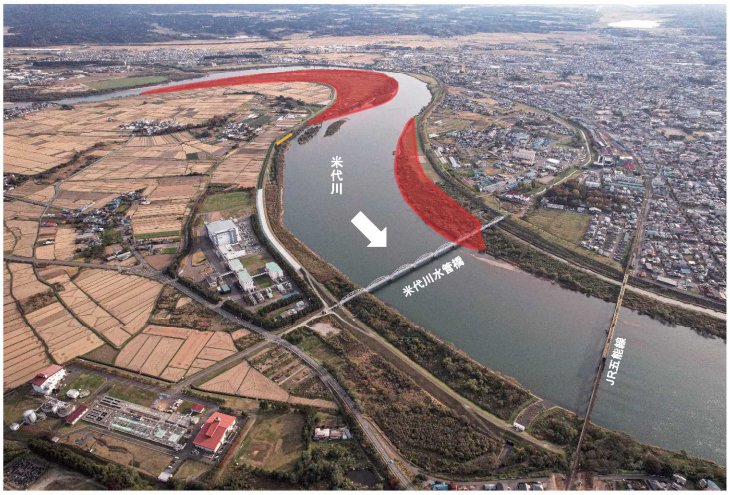
米代川　能代（のしろ）地区河道掘削事業

事業概要

流下能力が低く、背後地に資産が集中している区間において、河道掘削を実施し浸水被害防止を図ります。

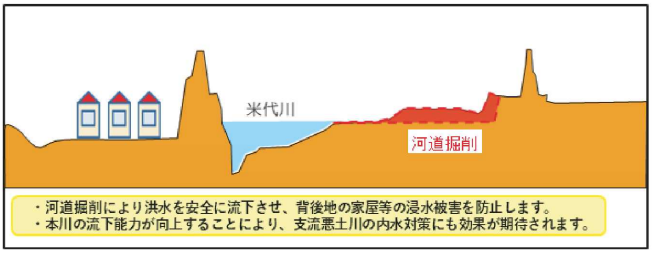
事業内容

能代地区において流下能力向上のための河道掘削を実施します。



※写真の事業範囲の赤着色は、当該事業全体の事業範囲を示しており
令和８年度の事業範囲のみを示すものではありません。

■河道掘削　イメージ図



「整備効果」について

河道掘削により洪水を安全に流下させ、背後地の家屋等の浸水被害を防止します。本川の流下能力が向上することにより、支流悪土川の内水対策にも効果が期待されます。

米代川水系流域治水プロジェクト

令和元年東日本台風による阿武隈川(福島県)・吉田川(宮城県)、令和６年７月豪雨での子吉川・最上川(山形県)での災害をはじめ、全国各地で豪雨災害が激甚化・頻発化しております。

このため、ハード整備の充実・加速化や治水計画の見直しに加え、上流・下流や本川・支川の流域全体を俯瞰し、国や流域自治体、企業・住民等、あらゆる関係者が協働して取り組む「流域治水」を実施しています。更には「流域治水」の実効性を高め、強力に推進するため「特定都市河川浸水被害対策法等の一部を改正する法律」が令和３年１１月１日に全面施行されました。

令和６年１月には、気候変動の影響による降雨量の増大を踏まえ、「米代川水系河川整備計画」の見直しを行いました。また、「米代川水系流域治水プロジェクト」についても、気候変動シナリオを反映し、対策の”量“、”質“、”手段 ”の強化により早期に防災・減災を実現するため、令和６年３月に『流域治水プロジェクト 2.0』としてバージョンアップを図り、流域のあらゆる関係者が一体となって、ハード・ソフト対策を推進します。



流域治水イメージ図

○米代川水系流域治水協議会 構成機関

秋田県
岩手県
能代市
大館市
北秋田市
鹿角市
八幡平市
小坂町
藤里町
八峰町
上小阿仁村

国立研究開発法人 森林研究・整備機構
森林整備センター 東北北海道整備局
東北農政局 西奥羽土地改良調査管理事務所
東北森林管理局 米代東部森林管理署
気象庁 秋田地方気象台
東北運輸局
秋田内陸縦貫鉄道株式会社



協議会開催状況

○米代川水系流域治水プロジェクト

■氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

・河道掘削の推進、堤防整備等
・土地利用や地域特性を踏まえた治水対策
・利水ダム９ダムにおける事前放流等の実施、体制構築
・開発行為に対する雨水貯留・浸透施設の設置指導
・雨水貯留浸透施設整備（調整池）・ため池の活用
・水田貯留（田んぼダム）の取り組み拡大
・砂防堰堤の新設及び既設砂防堰堤の機能改良、流木対策
・特定都市河川の検討　・森林整備、治山対策エリアの拡充
・インフラ DX による河川管理の高度化　・内水被害の軽減



地域の方々とワンコイン浸水センサ設置状況確認

■被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

・危機管理型水位計、簡易型監視カメラの設置拡大
・教育機関と連携した出前講座・防災教育の更なる拡充
・講習会等によるマイ・タイムライン普及促進
・要配慮者利用施設の避難確保計画作成の促進
・水害リスク空白域の解消
（中小河川のハザードマップ、内外水リスクマップの作成）
・内水浸水想定区域図（下水道）の作成
・避難体制等の強化　・水害伝承の取り組み促進
・MIZBE ステーションの利活用促進

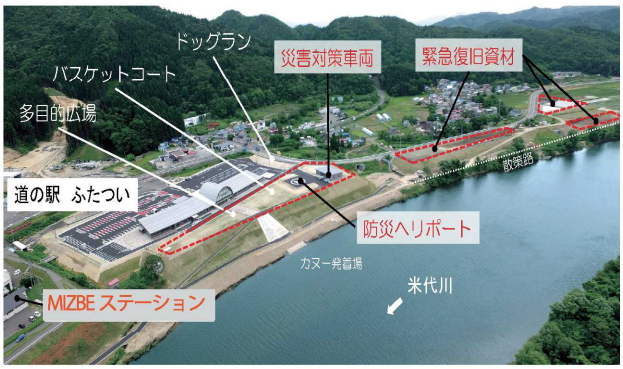

マイ・タイムライン作成講座

■被害対象を減少させるための対策

・防災拠点等の整備拡大
・立地適正化計画の策定・見直し
・立地適正化計画に基づく防災指針の策定
・住宅や商業施設等の嵩上げ支援
・雨水管理総合計画の策定

■グリーンインフラの取り組み

・健全なる水循環系の確保
・治水対策における多自然川づくり
・自然環境が有する多様な機能活用の取り組み
・流域治水に資する水田、ため池等の保全



MIZBE ステーション全景

河川調査

米代川流域の水文事象を記録するための雨量・河川水位・流量の観測や、米代川の営みを把握するための川幅・水深・河床材料などの河川形態の監視、河川内の生態環境を調査しています。これらの情報をもとに川の将来変化を予測し、河川が適正に機能するように検討をおこなっています。

水文観測調査

米代川水系では、雨量21、水位14、流量5箇所で観測を行い、水文統計資料を整理し流域の治水計画や水環境計画、河川管理の基礎資料としています。また洪水時には危機管理型水位計37基により、きめ細やかな水位観測を行い、沿川住民の避難行動に繋げています。

米代川水辺の国勢調査

河川環境の保全と整備を適切に推進する基礎資料とするため、定期的、継続的、統一的に全国の主な河川で、河川に生息する動植物等の調査を行っています。

令和７年度は、全体調査計画を策定しました。

令和８年度は、魚類調査を実施する予定です。



米代川水辺の国勢調査状況



水文観測機器点検状況

河川管理

米代川の国管理区間は、総延長で 75.6km(米代川 72.4km、藤琴川 1.4km、小猿部川 1.8km) であり、二ツ井出張所及び鷹巣出張所が管理を担当しています。

河川管理業務は、河川管理施設の適切な管理と河川の良好な状態を維持するために各種業務を実施しています。

また、洪水時･地震後には適切な措置を円滑に行うため緊急パトロールを実施し、良好な施設管理に努めています。

河川管理施設維持修繕

洪水に備えて、河川管理施設 (堤防 · 護岸 · 水門 · ダムなど) の維持修繕を行っています。

また、堤防機能の維持 (点検を含む) のための堤防除草や、堤防天端補修、洪水の流れを阻害する河道内樹木の伐採、ゴミや堆積した土砂の除去などを実施します。



堤防除草（遠隔操縦式草刈り機）



堤防天端補修



河道内樹木伐採

河川管理施設操作

洪水が発生した時は、樋門樋管や排水機場などの操作を行い、堤防の内側（住宅や水田がある側）への洪水氾濫を防ぎます。



排水機場ポンプ稼働状況
（比井野川救内排水施設）

河川の水・土地使用の許認可

河川水の使用 (上水道 · 工業用水 · 発電用水 · かんがい用水)、河川区域内の工作物設置 (橋や取水門など) 及び土地使用 (河川公園や雪捨て場など) について、許認可事務を行っています。なお、これらの許認可事務の受付は、能代市内を担当している二ツ井出張所、北秋田市内及び大館市内を担当している鷹巣出張所において行っています。

河川水質監視

米代川では定期的に水質調査を行い、良好な水質状態が保たれるよう監視するとともに、流域の関係機関 (国・県・市町村等) で「米代川水系水質汚濁対策連絡協議会」を組織し、水質事故が発生した際の情報連絡及び事故対策の調整、水質汚濁防止の啓発活動を行っています。

また、河川愛護思想の普及を兼ねて、米代川周辺の小学生による「水生生物調査」を行い、川底に住む昆虫などの種類から、河川の簡易水質評価を行っています。



オイルフェンス設置訓練状況



水生生物調査状況

森吉山（もりよしざん）ダムの管理

森吉山ダムは、昭和 48 年の調査事務所開設から 39 年の期間と移転補償 200 戸をもって、平成 23 年度に完成しました。

平成 24 年度から『森吉山ダム管理支所』として、能代河川国道事務所に加わりました。

洪水時や渇水時などに機能を最大限発揮させるとともに、長期にわたって適正に運用するため、ダムの色々な施設・設備の日常的な点検整備、計画的な維持修繕を実施しています。また、見学者の案内対応などの広報業務も行っております。



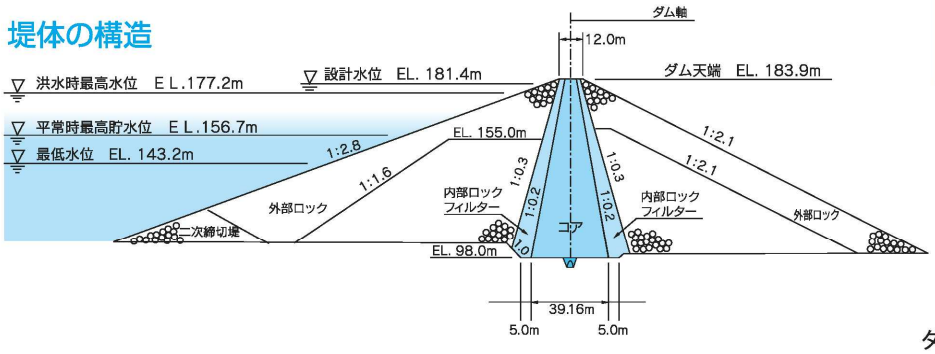
ダム

型　　式	中央コア型ロックフィルダム
堤頂標高	EL183.9m
堤　　高	89.9m
堤　頂　長	786.0m
堤　体　積	585万m³

貯水池

流域面積	248.0km²
湛水面積	3.2km²
洪水時最高水位	EL177.2m
平常時最高貯水位	EL156.7m
最低水位	EL143.2m
総貯水容量	7,810万m³
有効貯水容量	6,810万m³
洪水調節容量	5,050万m³
利水容量	1,760万m³
堆砂容量	1,000万m³

堤体の構造





ダムイベントによるダム堤体のぼり風景

事前放流

平成30年西日本豪雨や令和元年東日本台風等において、これまでにない記録的な豪雨により、全国各地で甚大な被害が発生したことを踏まえ、緊急時において既存ダムの有効貯水容量を洪水調節に最大限に活用できるよう、米代川水系において、河川管理者、ダム管理者、関係利水者と治水協定を締結しました。

治水協定の締結により、米代川水系の森吉山ダムを含めた９ダムでは、大雨により水災害が予想される際、ダムの利水容量の一部を事前に放流することで、あらかじめ水位を下げ、水災害対策に使える容量として活用し、洪水調節機能強化を推進します。

《構成機関》

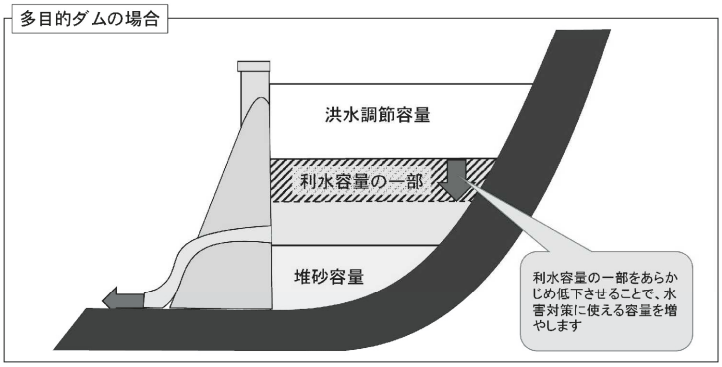
○河川管理者
- 能代河川国道事務所
- 秋田県
- 岩手県県土整備部

○ダム管理者
- 能代河川国道事務所
- 秋田県
- 岩手県農林水産部

○関係利水者
- 能代市　　大館市
- 北秋田市　　鹿角市
- 小坂町
- 東北電力㈱秋田発電技術センター
- 東北電力㈱能代火力発電所
- 三菱マテリアル㈱
- 秋田県能代地区土地改良区

《対象ダム》

森吉山ダム　森吉ダム　萩形ダム　素波里ダム　早口ダム
山瀬ダム　砂子沢ダム　根石ダム　鹿倉ダム

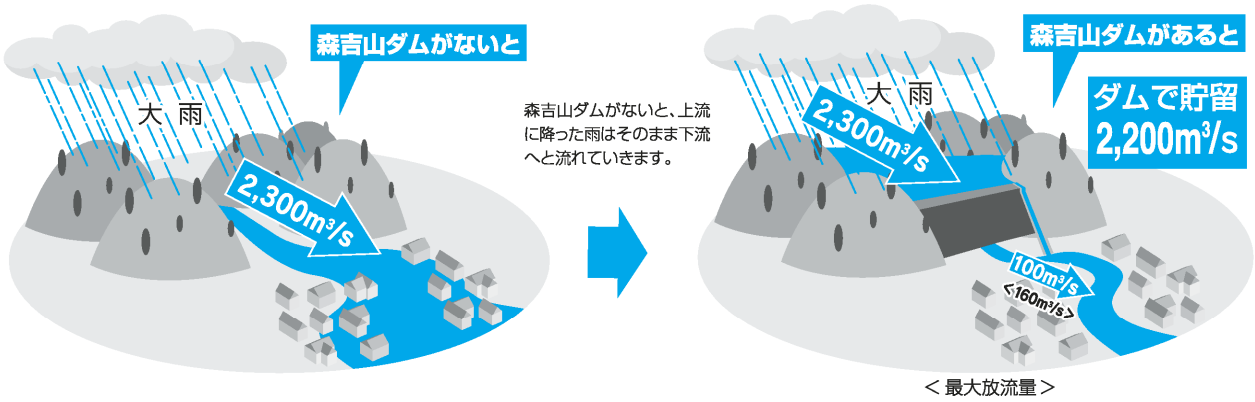


森吉山ダムのはたらき

1 防災操作（洪水調節）

洪水の一部を貯め込んで下流の地域の被害を少なくします。

計画される最大の洪水流量 2,300 ㎥ /s のうち、2,200 ㎥ /s を貯留して、下流の川沿いの地域の洪水被害を軽減します。



2 流水の正常な機能の維持

渇水を防ぎ、美しい水辺を保全します。

概ね 10 年に 1 回起こりうる渇水時においても、能代市二ツ井地点で流水の正常な機能を維持するための流量（概ね 42 ㎥ /s）を確保します。

3 かんがい用水の供給

北秋田市大野台地区に計画される農地に対してかんがい用水を供給します。

北秋田市の大野台地区に計画されている畑地のかんがい用水として最大取水量 0.145 ㎥ /s を供給するための必要量を確保します。

4 水道用水の供給

北秋田市に対し一日最大 9,500 ㎥の水の供給を可能にします。

北秋田市には水道用水として地下水をポンプで汲み上げている地域がありますが、水源の枯渇や不足が発生しています。森吉山ダムで貯水した水を水源として水道用水の安定供給が可能となります。

5 発　電

水力発電所で最大 11,200kW の発電を行います。

ダムにため込まれた水の落差を利用して発電し、エネルギー資源の有効活用を図ります。（水力発電はクリーンで環境にやさしい発電方法です）東北電力株式会社の森吉発電所によって発電される年間の電力量は約 50,300MWh で、これは月平均約 15,000 世帯に供給できる電気に相当します。

道路事業の概要

～県北地域の創造と地域生活の安全安心の確保～

国土軸の形成と地域間の交流・連携や道路サービスに関する主要課題に対応するため、高規格道路ネットワークの整備や交通安全対策などを進めていきます。



令和８年４月現在

一般国道７号の概要

一般国道７号は新潟市を起点とし、酒田市、秋田市、能代市、大館市を経由して青森市を終点とする延長約500kmの主要幹線道路です。

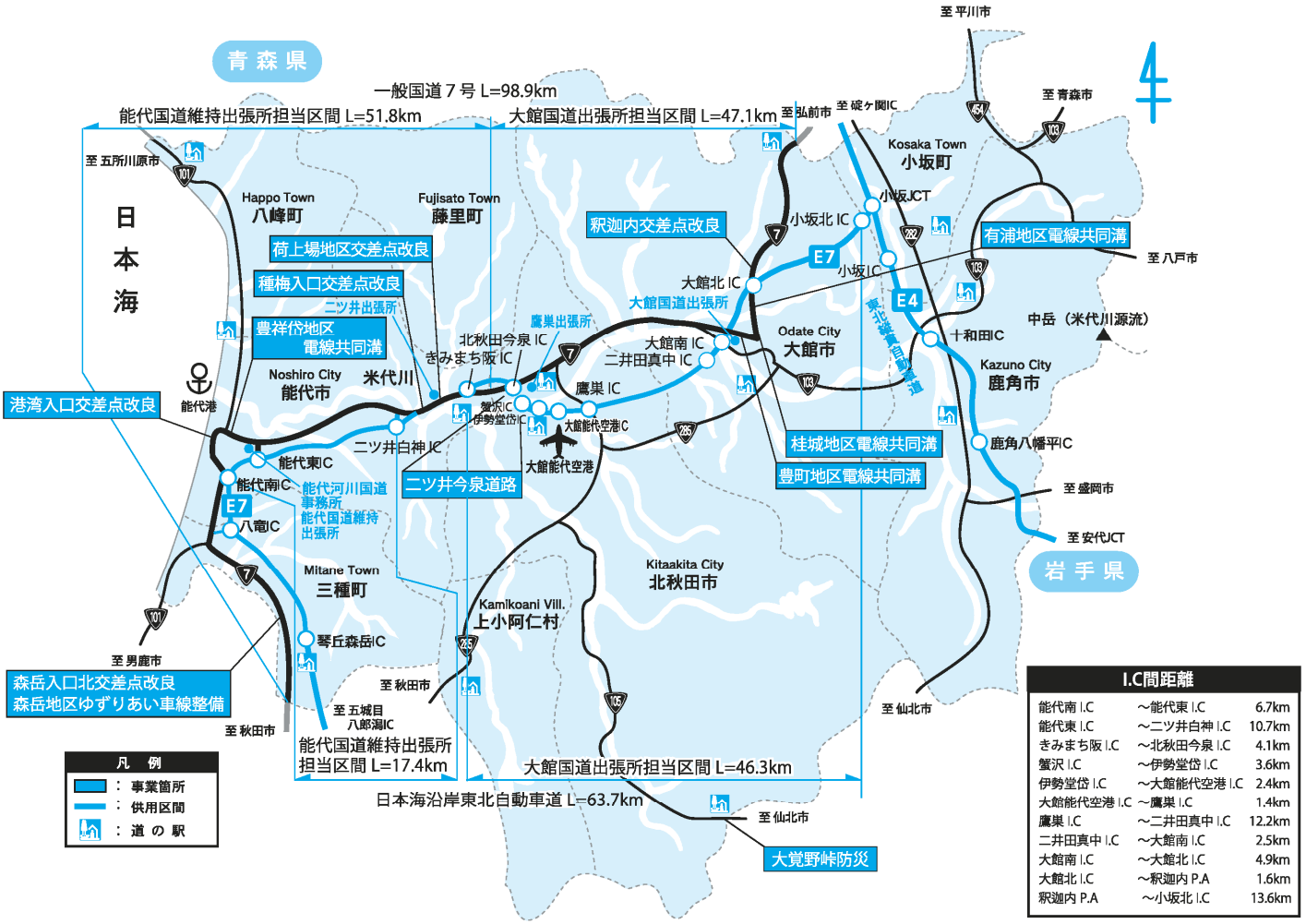
日本海沿岸東北自動車道とは

日本海沿岸東北自動車道（日沿道）は、新潟市を起点として日本海に沿って、新潟県・山形県・秋田県を経て東北縦貫自動車道と連結し、青森県に至る延長約322kmの高規格道路です。

能代河川国道事務所の管理区間延長は一般国道７号が 98.9km、日本海沿岸東北自動車道（自動車専用道路）が 63.7km の計 162.6km となっており、道路パトロールや占用許可等の道路管理業務、路面・橋梁・トンネル等の構造物の維持修繕、除雪・雪庇処理等の雪寒事業を行っています。

一般国道７号においては上記のほか、交通安全対策事業及び電線共同溝事業を実施しています。

また、二ツ井白神 IC ～きみまち阪 IC において、種梅入口交差点改良及び荷上場地区交差点の部分改良を進めています。



二ツ井今泉道路（きみまち阪 IC ～蟹沢 IC）

事業概要

二ツ井今泉道路（秋田県能代市二ツ井町小繋～北秋田市坊沢：延長 5.9km）は、日本海沿岸東北自動車道に並行し、その機能を代替する一般国道７号の自動車専用道路として整備を進めており、平成２４年度に着手しています。

将来的には既に開通している秋田自動車道と併せて、東北縦貫自動車道、大館能代空港、能代港と直結する高規格道路網の一翼を担います。

進捗状況

令和８年度は、残る北秋田今泉 IC ～蟹沢 IC 間の調査設計、用地買収、支障物移転、改良工事を実施します。

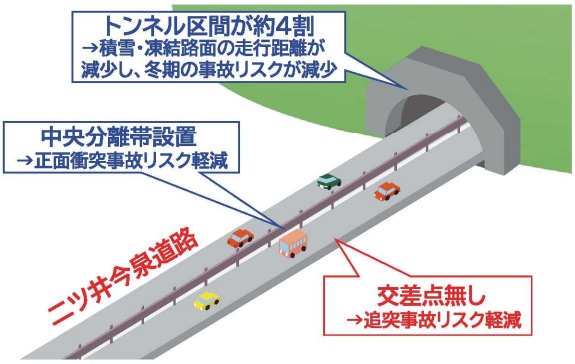
■事業箇所位置図





■安全な交通環境の確保

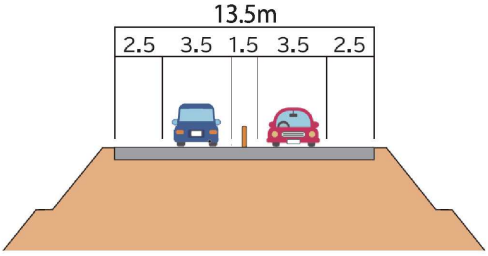
二ツ井今泉道路の整備により、信号交差点や連続するカーブ区間の走行が回避され、年間を通して安全な交通環境を確保します。



二ツ井今泉道路開通による事故リスク軽減イメージ

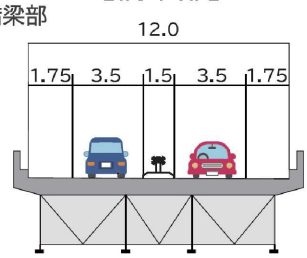
■道路構造

【盛土部】



【橋梁部】

■橋梁部





大雪による国道７号のスタック発生状況（平成２４年１月）

一般国道１０５号 大覚野峠防災

事業概要

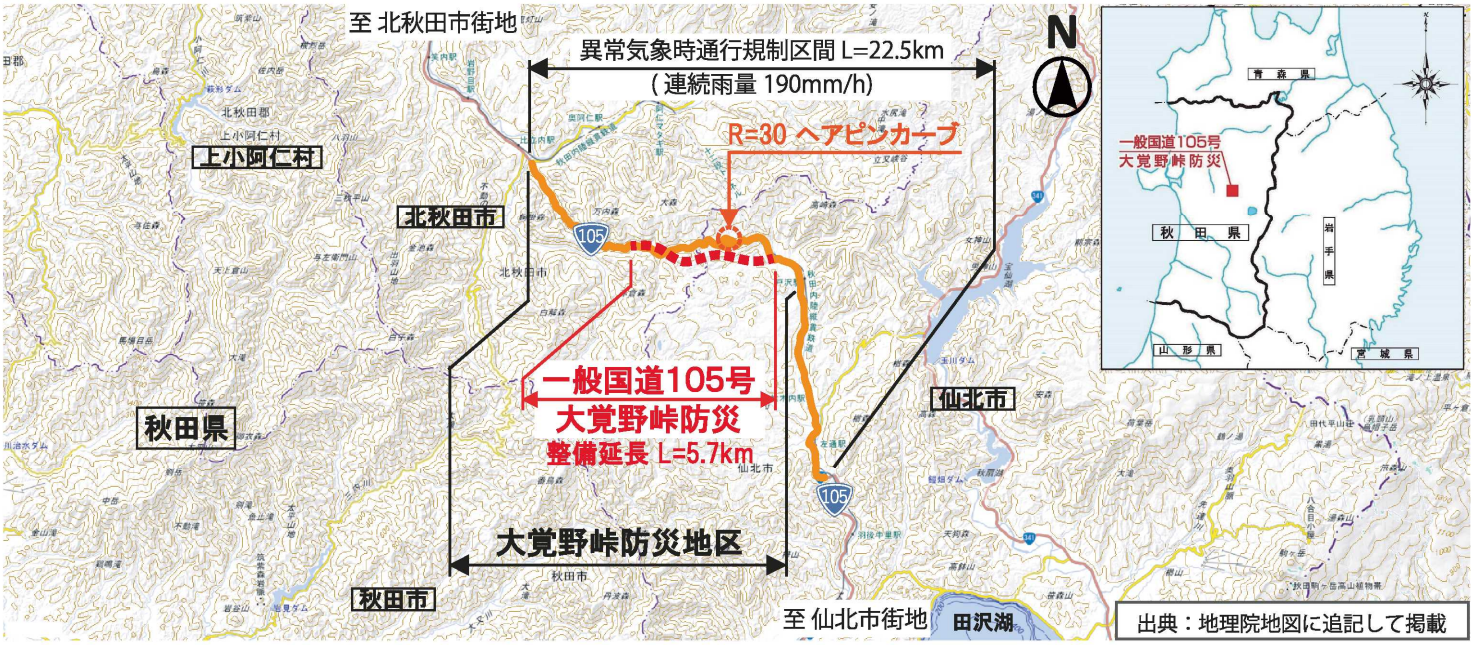
国道１０５号は県南、県北を結ぶ物流、観光における重要路線ですが、大覚野峠地区は事前通行規制区間であり、過去に地すべりや雪崩等の災害により通行止めになるなど災害が度々発生しています。

令和３年度から直轄権限代行として事業に着手しています。地すべりや雪崩・落石等の災害に強く、年間を通じた信頼性の高い道路ネットワークを構築します。

進捗状況

令和８年度は、改良工事、調査設計、用地買収を実施します。

■事業箇所位置図





■道路ネットワークの信頼性の確保

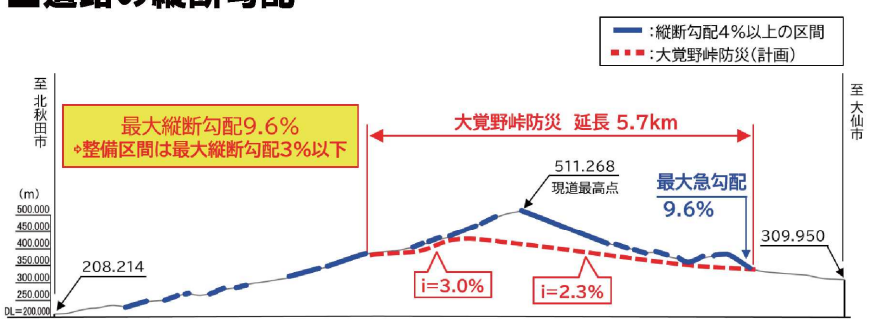
一般国道１０５号大覚野峠地区は、急峻かつ脆弱な地形のため、雪崩・倒木や土砂崩れ等による通行止めが度々発生しています。また急勾配（最大縦断勾配 9.6%）や急カーブ（最小曲線半径 30 m）、狭小幅員の箇所があり走行性にも問題があります。

大覚野峠防災の整備により、災害発生時の通行止めのリスクの低減し、自然災害に強い道路ネットワークを確保します。



ヘアピンカーブ箇所における土砂崩れ
（令和４年８月１５日）

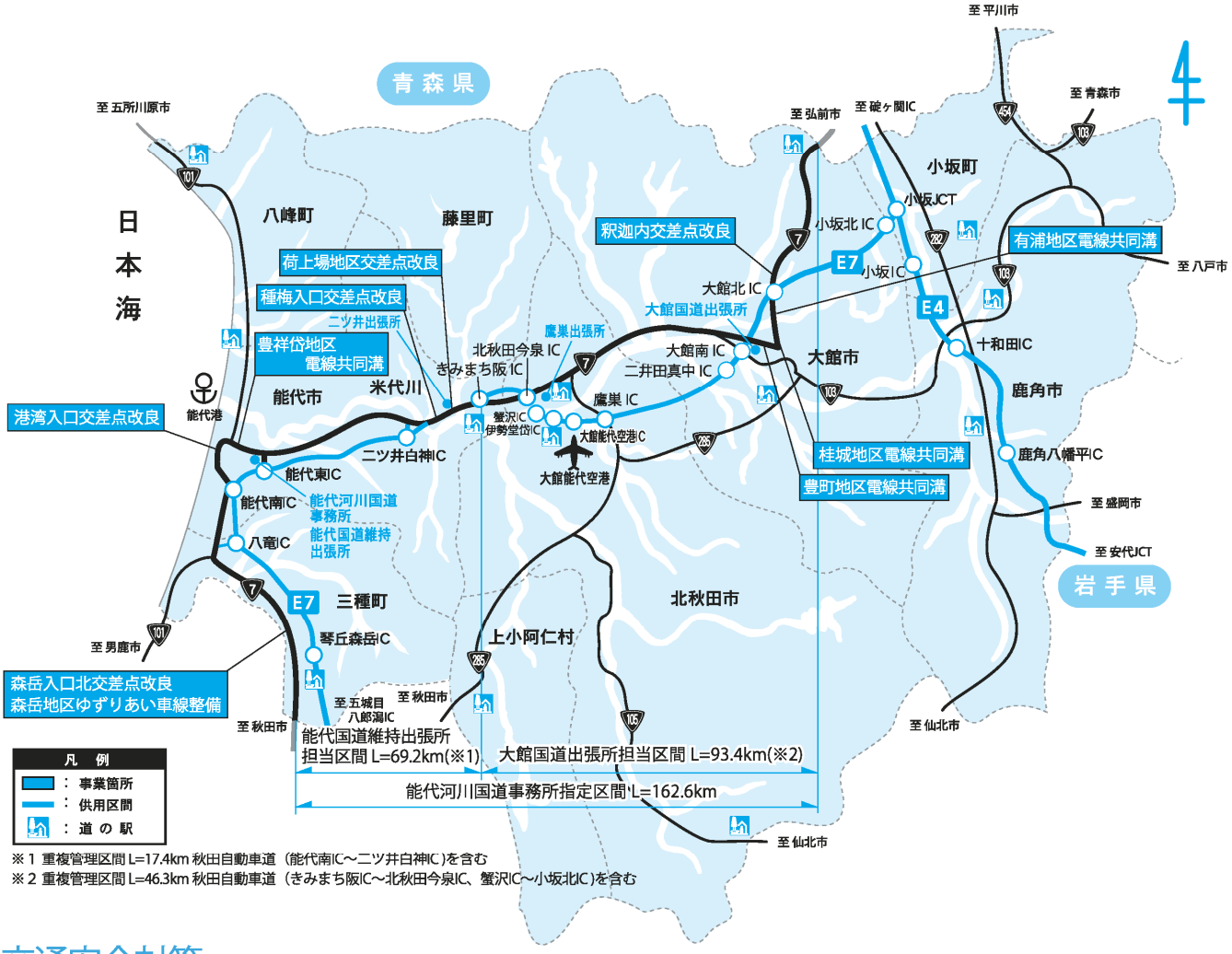
■道路の縦断勾配



交通安全対策事業・電線共同溝事業

交通事故多発区間等における交通の安全を確保するため、交差点改良、付加車線設置、道路標識、区画線、防護柵等の設置を行っています。

また、電線共同溝を整備し無電柱化することで、災害時における緊急輸送道路の確保並びに安全で快適な歩行空間確保を図るとともに、良好な都市景観形成に向けた取り組みを行っております。



※1 重複管理区間 L=17.4km 秋田自動車道（能代南IC～二ツ井白神IC）を含む
※2 重複管理区間 L=46.3km 秋田自動車道（きみまち阪IC～北秋田今泉IC、蟹沢IC～小坂北IC）を含む

交通安全対策

事故ゼロプラン 事故危険区間重点解消作戦
（秋田県の交通事故対策の取り組み）

秋田県内の国道の事故対策は、事故の危険性が高い区間などを県民の皆様と一緒に明確化し、事故原因に即した効果の高い対策を実施していきます。実施にあってはマネジメントサイクルに基づき、情報を公表し意見を伺いながら、継続的に行っていきます。

事故危険区間の事故対策

●三種町役場入口交差点改良
右折レーン設置と歩道拡幅



（令和３年 12 月 完成）

●能代地区線形改良
インターチェンジの線形改良



（令和７年 12 月 完成）

■事故危険区間の選定プロセス
秋田県内の国道（7号・13号・46号）

Step1：交通事故発生状況・特性の分析

○事故データや地域の声等を把握し、交通事故の発生状況や事故の特性を分析し、事故の要因を検討

Step2：事故危険区間候補の抽出

○死傷事故の発生割合が高い区間
○重大事故が発生している区間
○歩行空間の安全性に不安がある箇所

Step3：事故危険区間候補の絞り込み

○事故危険区間候補の中から、特に交通安全対策の必要性が高い区間を以下の視点から抽出
①死傷事故の発生割合が高い区間
②重大事故（死亡事故）が発生している 区間
③歩行空間の改善を図る必要のある区間
④未然に事故防止を図る必要のある区間

Step4：事故危険区間を決定

種梅（たねうめ）入口交差点改良

事業概要

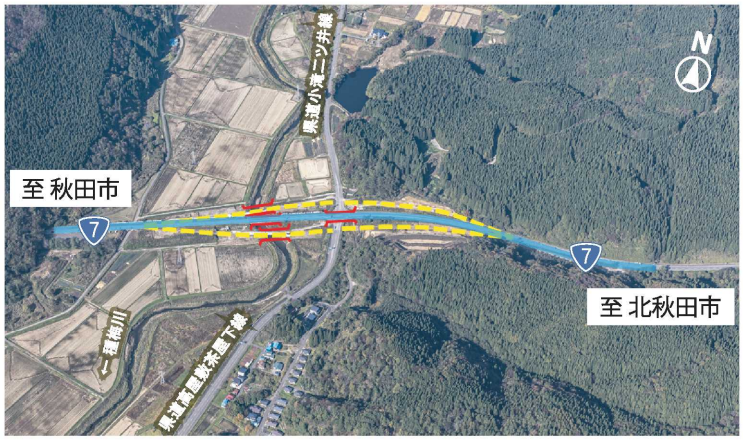
当該箇所は、長い直線と下り勾配のカーブに挟まれた信号交差点であり、停止車両への追突する事故等が多く発生しているため、交差点の立体化を図り、日本海沿岸東北自動車道と一体となって交通事故の削減及び交通の円滑化を図るため、令和２年度から事業着手しています。

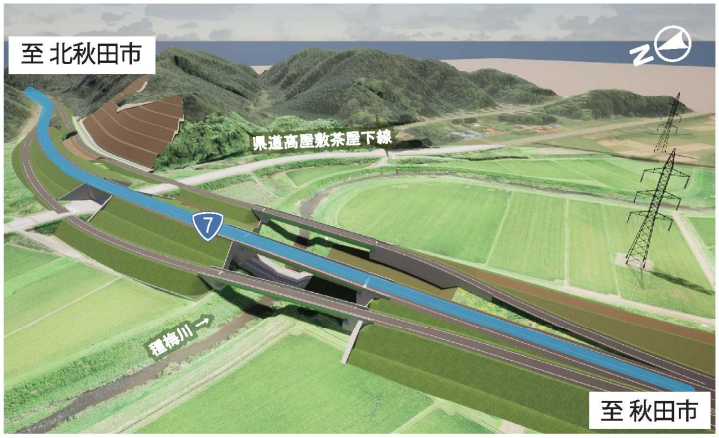
進捗状況

令和８年度は、改良・舗装工事を実施します。

■事業箇所位置図







完成イメージパース

■工事進捗状況（令和７年１１月末時点）



工事進捗状況①（秋田市方面より）



工事進捗状況②（北秋田市方面より）

荷上場（にあげば）地区交差点改良

事業概要

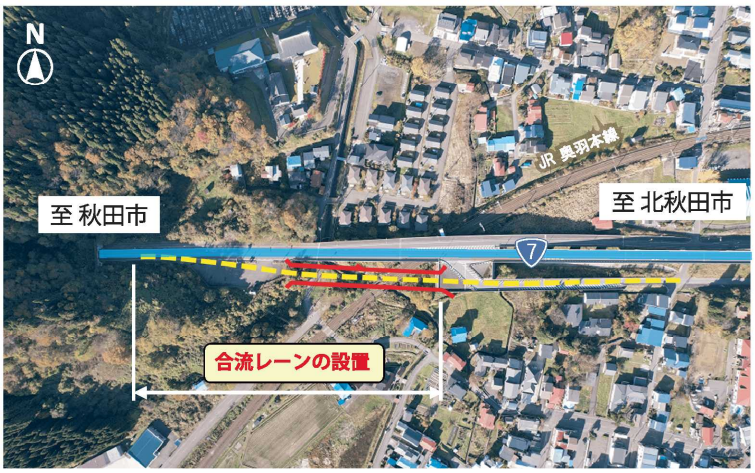
国道７号二ツ井高架橋上の合流部は一時停止となっており、本線を走行する車両と合流する車両の速度差によって追突事故が多発しているため、合流レーンの設置を行い、交通事故の削減及び交通の円滑化を図るため令和３年度から事業に着手しています。

進捗状況

令和８年度は、調査設計、用地買収、法面対策、付替水路工事を実施します。

■事業箇所位置図







右折レーン滞留状況

■対策イメージ図



■スムーズな合流が可能

合流レーンを設置することにより、一時停止が解消され、本線へスムーズな合流が可能となります。

このことにより、交通事故の削減、交通の円滑化が図られます。

森岳入口北交差点改良

事業概要

当該箇所は、三種町の主要地区である森岳地区への入口に位置しており、交差点において左折する車両が多い状況にあり、専用レーンがなく前後の直線区間が長いことから、左折車両に後続車両が追突する事故が多発しております。

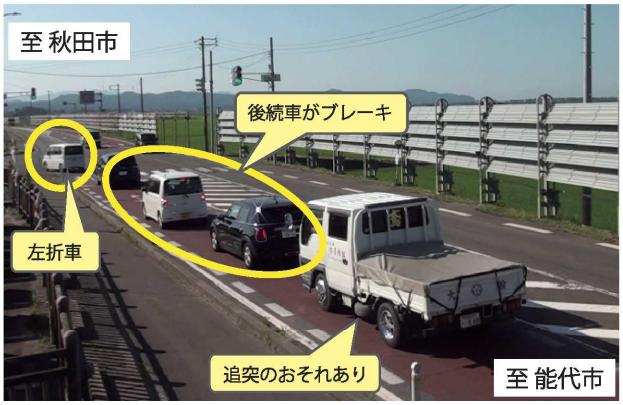
本事業は、左折レーン設置による交差点の改良を行い、交通事故の削減を図るものです。

進捗状況

令和８年度は、公共補償、工事を実施します。

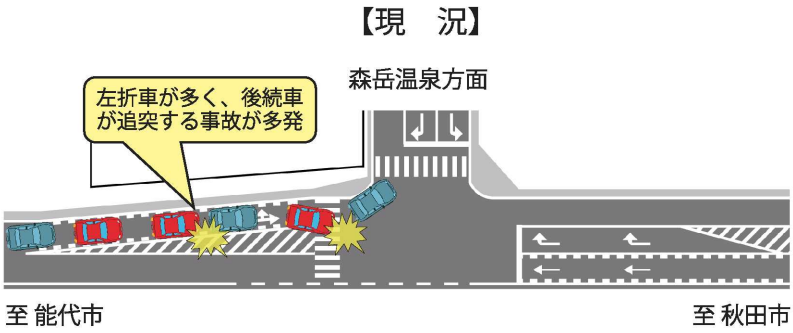
■事業箇所位置図



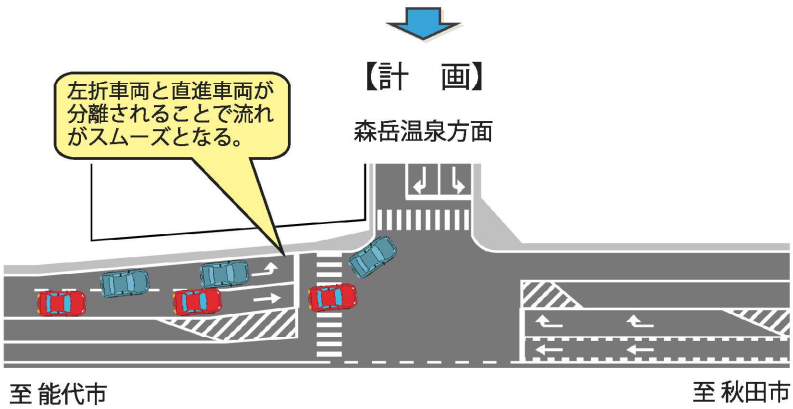


左折車両による後続車のブレーキ状況

■対策イメージ図



秋田市方面に向かう車線では、森岳温泉方向へ左折する車両が多く後続車の追突事故が多発している。





左折車を交わすため後続車両による車線はみ出し状況

釈迦内（しゃかない）交差点改良

事業概要

釈迦内交差点は、交差点部における右折レーン長の不足により、右折滞留に伴う直進阻害及び追突事故が発生しております。

本事業は、右折レーンの延伸による交差点改良を行い、交通事故の削減及び交通円滑化を図るものです。

進捗状況

令和８年度は、公共補償、工事を実施します。

■事業箇所位置図





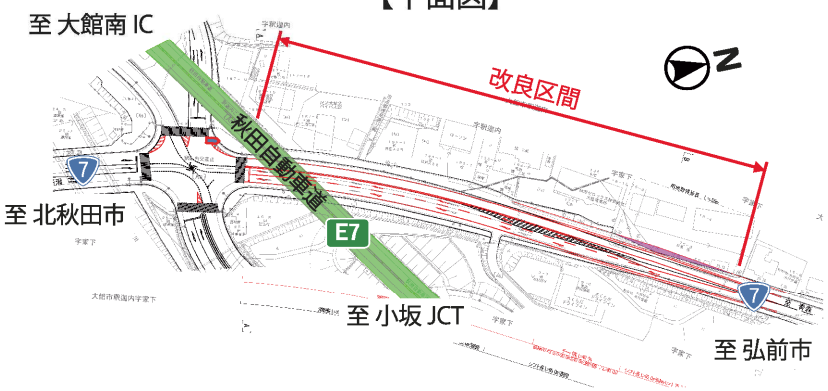
右折レーン滞留状況

当該箇所は、国道７号と秋田道（自動車占用道路）が立体交差する交差点である。

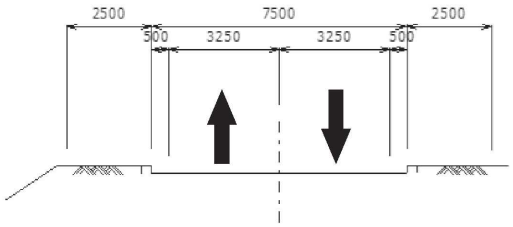
交差点部における右折レーン長の不足により、右折滞留に伴う直進阻害及び追突事故が発生しており、事故危険個所に指定されている。

■対策イメージ図

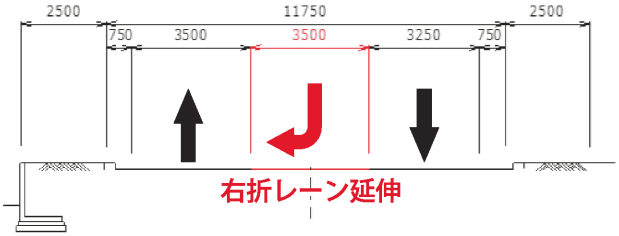
【平面図】



【現　況】



【計　画】



港湾（こうわん）入口交差点改良

事業概要

当該箇所は、能代港への入口に位置しており、交差点において左折する大型車が多い状況にあり、直進車両への阻害が発生し、車線を跨いだ無理な追越しや追突事故の誘発要因となっております。

本事業は、左折レーンの設置による交差点改良を行い、交通事故の削減及び交通円滑化を図るものです。

進捗状況

令和８年度は、公共補償、工事を実施します。

■事業箇所位置図





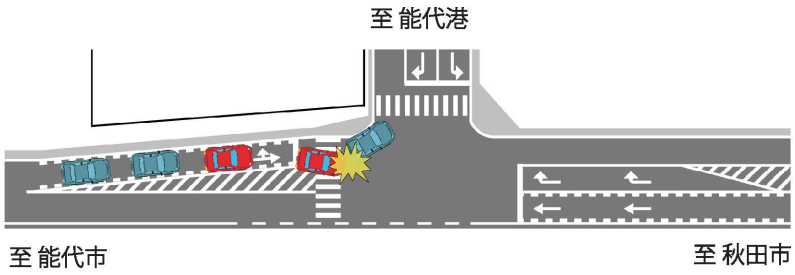
左折車両による後続車のブレーキ状況 ①



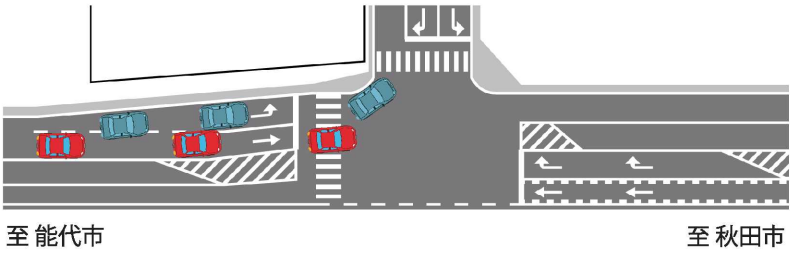
左折車両を交わす後続車のブレーキ状況 ②

■対策イメージ図

【現　況】



【計　画】



森岳（もりたけ）地区ゆずりあい車線整備

事業概要

当該箇所は、平野部となっており冬期間、地吹雪による視程障害及び吹きだまりによってスタック車両による交通障害が発生しております。

本事業は、国道７号への付加車線設置により、低速度しゃと分離し速度低下の影響を軽減するとともに、スタック車両や事故車両の待避場所や迂回路としても活用し、通行障害を回避するものです。

進捗状況

令和８年度は、用地買収、工事を実施します。

■事業箇所位置図



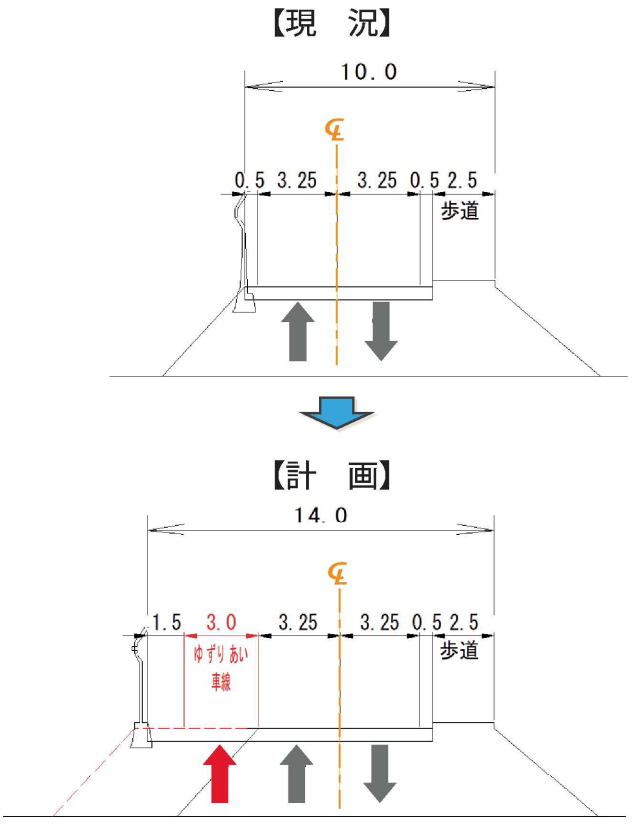


速度低下状況



無理な追い越しをする車両

■対策イメージ図



電線共同溝整備　大館市（豊町地区、桂城地区、有浦地区）　能代市（豊祥岱地区）

事業概要

電線共同溝を整備し無電柱化をする事で、災害時における緊急輸送道路の確保並びに安全で快適な歩道区間の確保を図るとともに、大館市が推進している「歴史まちづくり事業」に基づき、大館城跡と周辺の街なみの景観保全・景観に関する連携事業として、また、能代市の国道７号は日本風景街道「のしろ白神の道」として良好な都市景観の形成にむけたまちづくりを支援します。

進捗状況

豊町地区：令和８年度は、電線共同溝工事を推進します。
桂城地区：令和８年度は、電線共同溝工事を推進します。
有浦地区：令和８年度は、電線共同溝工事を推進します。
豊祥岱地区：令和８年度は、電線共同溝工事を推進します。

■事業箇所位置図



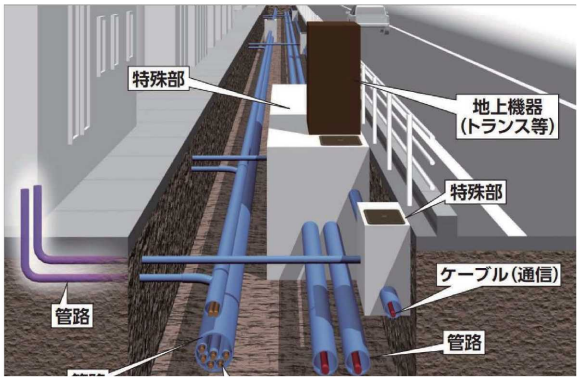


無電柱化整備の推進

道路の地下空間を活用して、電力線や通信線などをまとめて収容する「電線共同溝」などの整備による電線類地中化により道路から電柱をなくしていくものです。電柱がなくなることにより信号機や道路標識の視認性が向上し、交通の安全が図られます。

景観の向上や、歩行空間の確保にも繋がり、街並みの活性化にも繋がります。

台風や大規模地震などによる電柱の倒壊や電線の垂れ下がりの危険性もなくなるため、道路の防災機能向上が図られます。



電線共同溝の整備イメージ

道路災害機能の向上及び良好な景観の形成と安全な歩行空間の確保

整　備　前　　整　備　後

倒壊による道路閉塞



歩行者の通行阻害



美観を損ねる電柱・電線



道路防災機能の向上



道路管理

道路管理は、事務所道路管理課と大館国道出張所及び能代国道維持出張所の２つの出張所が担当しています。
担当区間は、一般国道７号（秋田県山本郡三種町天瀬川～大館市長走）L=162.6km（秋田自動車道 能代南IC～二ツ井白神IC間、きみまち阪IC～北秋田今泉IC間、蟹沢IC～小坂北IC間含む）となっております。業務内容は、道路を常に安全でかつ快適に利用していただくために次のような業務を実施しています。

道路管理業務

常に良好で安心して通行できる道路を維持するため、道路パトロールによる路面や道路付属物の状況の点検、道路法令に基づく占用許可（上下水道・電柱・看板等）、道路の請願工事の承認（通路の取り付け等）、特殊車両の通行許可、道路付属物の損傷復旧業務、道路に関する相談、意見、苦情、質問等の窓口業務などを行っています。



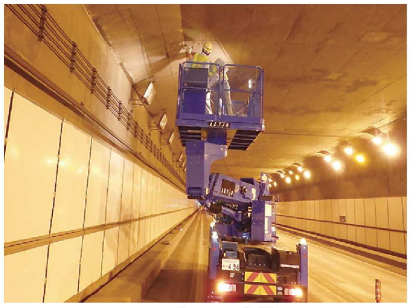
路面や道路付属物の状況をパトロールで点検します。



損傷箇所が発見された場合、損傷箇所を確認し、対処方法を検討の上、迅速に補修対応します。

道路維持・修繕事業

道路を保全し、道路交通の安全と円滑化を図るため、橋梁やトンネルなど構造物の点検・補強補修などの老朽化対策、車道や歩道路面の舗装補修、照明灯や標識、ガードレールなど道路付属物の補修、道路清掃などを行っています。



トンネルの点検



橋梁の補修

除雪・防雪事業

冬期間でも安心して通行できる道路を維持するため、管内４箇所（能代市２、大館市２）の除雪ステーションを基地に車道及び歩道の除排雪や、凍結抑制剤の散布を行っています。また、地吹雪による運転中の視界不良を防ぐため、防雪柵の設置も行っております。



一般国道７号での対策状況（防雪柵、除雪）

防災協定紹介

道の駅「たかのす」及び道の駅「ふたつい」では、防災機能の設備（非常用発電設備・防災用資機材・情報提供設備など）を備えており、道の駅設置者、管理運営者、道路管理者等による「災害時相互応援協定」を締結することで、適切で迅速な災害対処、防災活動を行うことが出来ます。
また、定期的に合同で防災訓練を実施して、非常時に備えています。

令和７年度冬季雪害対応訓練
【道の駅ふたつい】



事故車両への対応

令和６年度冬季雪害対応訓練
【道の駅たかのす】



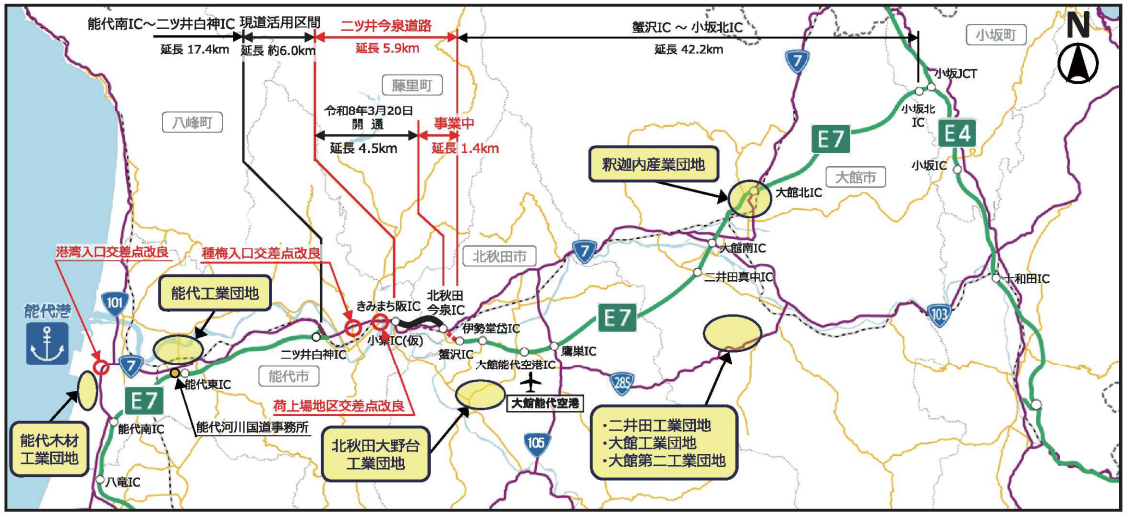
事故車両からケガ人を搬出

日本海沿岸東北自動車道の整備効果

進むネットワーク化が県北の企業進出・新規雇用を後押し

●日沿道の開通時期公表や開通延伸に伴い、北秋田市では平成 22 年度から 14 年間で 30 社が工場を新増設し、新たに275 名の雇用が創出。大館市も工場の新増設が93工場、新たに848名の雇用が創出され、総所得が増加するなどの効果を発現しています。鷹巣大館道路の開通により、継続的な産業活動の後押しが期待されます。

■大館市・北秋田市の近年における主な新設・増設工場



○H25 開通
大館北 IC ～小坂北 IC

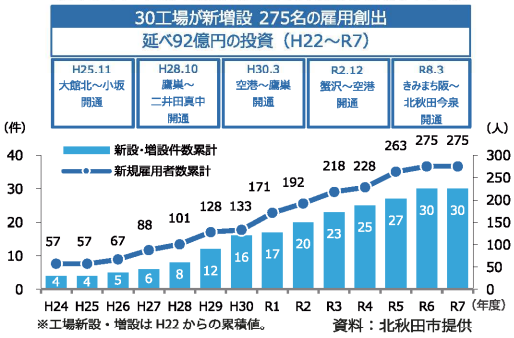
○H28 開通
鷹巣 IC ～二井田真中 IC
（鷹巣大館道路）

○H30 開通
大館能代空港 IC ～鷹巣 IC
（鷹巣大館道路）

○R2 開通
蟹沢 IC ～大館能代空港 IC
（鷹巣西道路）

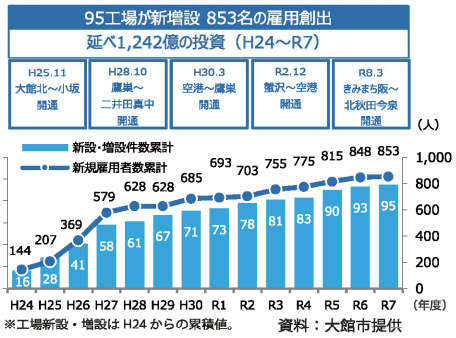
○R8.3 開通
きみまち阪 IC ～北秋田今泉 IC
（二ツ井今泉道路）

■北秋田市の新増設件数と新規雇用者数の推移※



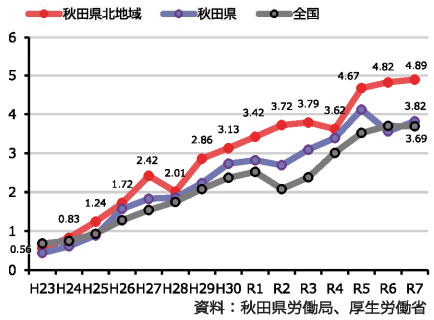
※工場新設・増設は H22 からの累積値。
資料：北秋田市提供

■大館市の新増設件数と新規雇用者数の推移※



※工場新設・増設は H24 からの累積値。
資料：大館市提供

■高卒者求人倍率の推移（※各年７月時点の求人倍率）

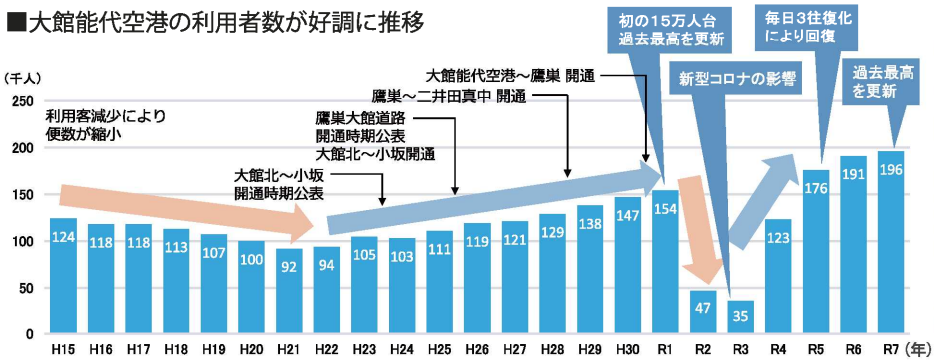


資料：秋田県労働局、厚生労働省

空港との連携による広域周遊観光を支援

●大館能代空港の利用客数は年々増加し、令和５年からは羽田便の３往復により、令和６年は過去最高の利用者数を記録。空港を拠点とした観光が活発化しています。
●空港と高速ネットワークのアクセス性向上により、大館能代空港を拠点とした広域観光ツアー企画数が年々増加しています。
●鷹巣西道路及び鷹巣大館道路のアクセス性向上により大館能代空港のさらなる利便性 向上が期待されます。

■大館能代空港の利用者数が好調に推移

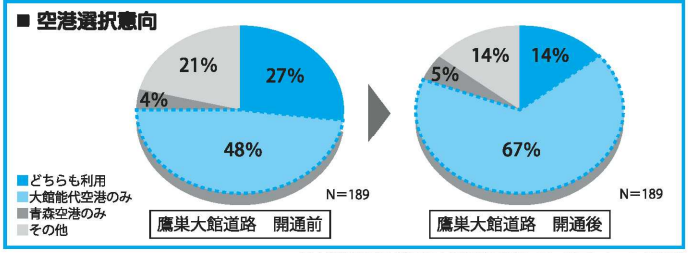


■大館能代空港



空港IC開通後、近隣空港（青森）と比較し大館能代空港を選択する方が増加

■ 空港選択意向



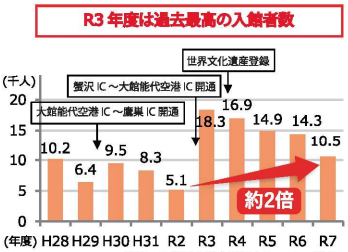
※大館能代空港・道の駅大館能代空港利用者へのアンケート（H30.8）

■世界文化遺産



出典：秋田県

■伊勢堂岱縄文館の入館者数の推移



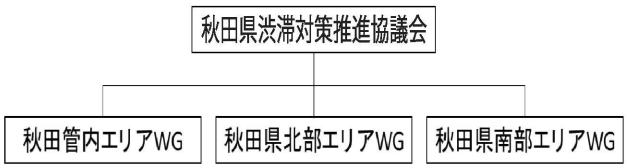
資料：北秋田市教育委員会ヒアリング結果

快適で円滑な交通の確保（渋滞対策・道路調査）

秋田県渋滞対策推進協議会

秋田県内の慢性的な渋滞を解消し円滑な交通流を確保するため、関係自治体や関係団体と連携しながらきめ細かい渋滞対策を進める事を目的とし、実施しております。

組織図





秋田県北部エリアワーキンググループ開催状況

道路調査

秋田県北部地域では、平成５年８月に地方拠点都市法の地域指定（米代川流域市町村）を受けており、各生活圏の結びつきを強いものとし、地域の活性化を図ろうとしています。これらを支援する社会基盤として、大館能代空港（平成 10 年 7 月開港）や能代港（リサイクルポート指定平成 18 年 12 月）と連携した広域道路網の整備は不可欠となっています。これらの状況を踏まえ、地域の交通の現状や問題点、開発計画、また将来にわたる交通需要や道路整備需要を的確に把握する必要があり、各種道路調査を実施します。

■交通量調査

管内の一般国道や主要地方路線において、今後の道路計画、建設、維持修繕、道路管理などの基礎資料を得る目的として、ビデオカメラを設置して交通状況を撮影し、その映像を基に室内で読み取りにより交通量を観測しています。



交通量調査状況



ビデオ読取状況

■道路環境調査

各種道路計画及び実施にあたり、希少動植物の生態等について調査を行っています。これらの調査結果をもとに、専門家から助言をいただきながら生態系などに与える影響を最小限に抑え、環境に配慮した事業計画を実施していきます。



水辺環境・魚類調査実施状況



猛禽類調査実施状況

水辺を活用した地域活性のとりくみ

■二ツ井地区MIZBEステーション

国土交通省では地域の活性化や賑わいの創出が期待される河川防災ステーションを「MIZBEステーション」として登録しています。

能代河川国道事務所では米代川に隣接する二ツ井地区河川防災ステーションについて、平時は「道の駅ふたつい」、「二ツ井きみまち地区かわまちづくり」として、一体となった水辺空間の創出や地域交流の拠点となることが期待されることから、令和５年に「二ツ井地区 MIZBE ステーション」として登録しています。


水辺の利活用（カヌー体験）



二ツ井地区 MIZBE ステーション


車輌格納庫


散策路の利活用

地域とのコミュニケーション

能代河川国道事務所では、住民一人一人が本当の豊かさを実感できる社会を実現するため、生活を支える社会基盤として河川やダム、道路を整備し、管理しています。

そのため地域の皆さんや自治体関係者の方々との対話を行ったり、地域イベントへの参加など様々な取り組みを通して、幅広くニーズをくみ取り、地域とともに事業を進めてまいります。

現場施設見学会を通じた事業進捗の紹介

能代河川国道事務所で実施している事業について、現場見学会を通じて地域の皆さんへ紹介しています。見学会では事業の進捗だけではなく、事業の役割や背景、各種取り組みや整備効果などの説明を行い、事業への理解を深めていただいています。


森吉山ダム現場見学会の様子
（北秋田市立前田小学校）

総合的な学習の支援・協力や出前講座

能代河川国道事務所の事業や防災について、地域の皆さんにもっと知っていただくとともに、皆さんの意見や生の声を聞かせていただくための場として、「出前講座」を設けています。

職員が最新情報を交えつつ、わかりやすくお話させていただきます。また、意見を通じて、様々なニーズや声を聞かせていただき、それをできる限り今後の国土交通行政に反映させていきたいと考えています。


出前講座の様子（十和田小学校）


インターンシップ（秋田北鷹高校）

地域づくり相談窓口の設置・地域づくり担当官の配置

国土交通省所管の各種施策や事業に関する情報提供、県や市町村、地域づくりグループからの多様な地域づくりに関する相談に対して、スピーディに、かつ、的確に対応するため、事務所には「地域づくり相談室」を、また、各出張所には「地域づくり相談所」を設置しています。

また、地域の声を施策に反映させたり、所管の事業に関する情報を紹介するなど、地域づくり支援を担当する「地域づくり担当官」を配置しています。

地域づくり相談窓口（流域治水課）　TEL 0185-70-1176

■地域づくり担当官の役割

地域づくり担当官の役割（平成10年度～）

人間関係の構築・ニーズの把握
地域住民・学識経験者等との意見交換
（地域の声を施策に反映）

地域づくり支援
国土交通省の施策の紹介、地域づくりに関するアドバイス、地域間の交流連携の支援

人材育成・情報の受発信
職員に対する地域づくりへの意識向上、
地域づくりに関する情報の共有化、受発信

二ツ井出張所

●米代川・藤琴川の維持管理（除草作業等）を行います。
●米代川の洪水流下能力を向上させるため、河道掘削・樹木伐採を行います。
●米代川の洪水被災箇所について、復旧を行います。
●河川パトロールを行い、堤防等の施設点検、ゴミ等の不法投棄の監視などを行います。
●河川敷使用などの許認可事務を行います。
●河川愛護に関するイベントや小中学校の総合学習への支援を行います。

担当区間

区　　間	延　長
河口から能代市二ツ井町までの米代川本川 36.5km	37.9km
支川藤琴川 1.4km	


堤防点検


船上巡視



二ツ井出張所
〒018-3103
能代市二ツ井町荷上場字中島26
TEL 0185-73-5432・FAX 0185-73-5090


樋門・樋管点検

鷹巣出張所

●米代川・小猿部川の維持管理（除草作業等）を行います。
●米代川の洪水被災箇所について、復旧を行います。
●河川パトロールを行い、堤防等の施設点検、ゴミ等の不法投棄の監視などを行います。
●河川敷使用などの許認可事務を行います。
●河川愛護に関するイベントや小中学校の総合学習への支援を行います。

担当区間

区　　間	延　長
北秋田市今泉から大館市比内町扇田までの米代川本川 35.9km	37.7km
支川小猿部川 1.8km	


安全利用点検


重要水防箇所合同巡視



鷹巣出張所
〒018-3301
北秋田市綴子字柳中9－1
TEL 0186-62-1226・FAX 0186-63-0991


許可工作物点検

森吉山ダム管理支所

●森吉山ダムの施設及び貯水池周辺の維持管理や防災操作、ダム堤体や貯水池周辺の地すべり等の監視を行います。
●ダム貯水池周辺の河川区域使用などの許認可事務を行います。
●ダムの役割など事業への理解を深めていただくため、子どもたちが主体的・対話的に学ぶ「体験型（アクティブ・ラーニング）プログラム」により、〝自ら学ぶ〟ダム施設見学を行います。
●「森と湖に親しむ旬間」に関するイベントや総合学習への支援を行います。


アクティブ・ラーニング体験（ダム堤体のぼり）


四季美湖まつり　カヌー体験



森吉山ダム管理支所
〒018-4512
北秋田市根森田字姫ヶ岱31
TEL 0186-60-7231・FAX 0186-60-7232

大館国道出張所

●国道７号：北秋田市～大館市間の舗装や橋梁の補修を行います。
●秋田自動車道：能代市～小坂町間の舗装や橋梁、トンネルの補修を行います。
●道路パトロールによる路面・道路付属物等の点検・補修を行います。
●釈迦内交差点改良事業を推進します。
●道路使用などの許認可事務を行います。
●桂城地区及び豊町地区の電線共同溝工事を推進します。
●国道７号及び秋田自動車道で交通事故や故障車両が発生した際に緊急出動し対応します。
●北秋田市鷹巣地区、北秋田市作阪地区の災害復旧対策工事を推進します。



大館国道出張所
〒017-0864
大館市根下戸新町1－68
TEL 0186-49-0321・FAX 0186-43-5819

担当区間

道路名	区　　間	延　長
７号	秋田県北秋田市今泉字鳥越から 秋田県大館市長走字下内沢まで	47.0km
７号 (秋田自動車道)	きみまち阪 IC ～北秋田今泉 IC 蟹沢 IC ～小坂北 IC	46.3km



損傷箇所の補修（路面補修）



大館市とのスクラム除雪（令和８年２月）



電線共同溝事業

能代国道維持出張所

●国道７号：三種町～能代市間の舗装や構造物の補修を行います。
●秋田自動車道：能代南 IC ～二ツ井白神 IC 間の舗装や構造物の補修を行います。
●国道沿線の花壇づくり（能代・山本「国道７号ふれあいロード」連絡会）や黒松剪定（能代バイパス黒松友の会）等のボランティア活動を支援します。
●道路パトロールによる路面・道路付属物等の点検・補修を行います。
●種梅入口交差点改良事業を推進します。
●荷上場地区交差点改良事業を推進します。
●森岳地区ゆずりあい車線整備、森岳入口北交差点改良整備を推進します。
●港湾入口交差点改良事業を推進します。
●国道７号及び秋田自動車道で交通事故や故障車両が発生した際に緊急出動し対応します。
●道路使用などの許認可事務を行います。

担当区間

道路名	区　　間	延　長
７号	秋田県山本郡三種町天瀬川字三倉鼻から 秋田県能代市二ツ井町小繋まで	51.8km
７号 (秋田自動車道)	能代南 IC ～二ツ井白神 IC	17.4km

※庁舎被災の為、事務所に仮移転中です。

能代国道維持出張所
〒016-0121
能代市鰄渕字一本柳97-1
TEL 0185-58-2919・FAX 0185-58-3149



防雪柵の設置



照明灯の点検・交換



ボランティア団体の支援
（写真：能代バイパス黒松友の会）

防災対策への取り組み

地震・風水害等の災害が発生した場合、被害を最小限にとどめ、一刻も早い復旧作業を行う必要があります。
このため、日頃のパトロールはもとより、万一災害が発生した場合は施設等の被害状況を早急に把握し、より迅速かつ円滑な復旧作業が出来るように取り組んでいます。

洪水予報・水防警報

米代川の増水や氾濫などに対する水防活動の判断や、住民の避難行動の参考となるように、秋田地方気象台と共同で「氾濫注意情報」「氾濫警戒情報」「氾濫危険情報」「氾濫発生情報」などの米代川洪水予報を発表します。
また、所定の水位に達した際に、水防団や消防機関などの防災機関の出動の目安となる水防警報も発表します。

防災エキスパートとの連携

災害発生時、被災情報の迅速な収集を行うとともに、災害発生を未然に防ぐため、防災箇所の安全性の判定や点検などの防災活動について防災の経験と知識を持った方々に、ボランティアとして協力をいただいております。


防災エキスパートとの連携

災害対策室

災害が発生した場合や発生の恐れがある場合、被災状況や気象データ・現地映像を迅速に収集し、対策や復旧等の検討、指示を県北地域の防災拠点として「いざ」というとき人々の暮らしを安全を守ります。


災害対策室の様子

災害情報普及支援室

洪水ハザードマップ作成にあたって、市町村が必要とする技術支援を目的として、平成17年1月27日に設置しました。氾濫シュミレーション結果の提供や、災害への備えに関する情報の提供などを行っています。

災害情報普及支援室の役割･機能は次のとおりです。

- 洪水ハザードマップの作成に関する市町村への技術支援
- 事務所管理区間における氾濫シミュレーション結果の情報提供
- 浸水想定区域内の事業所等への自衛水防の支援
- その他、災害ポテンシャル情報に関する普及・啓蒙活動等

問い合わせ先
TEL 0185-70-1176

室長：副所長（河川）
担当：流域治水課
担当：河川管理課

防災訓練

災害対応能力の向上を目的とし、情報収集、集約、伝達判断及び対処等の具体的な災害対策活動を実践的に行う模擬演習を行っています。
大規模洪水に備えた洪水対応演習や、大規模地震を想定した総合防災訓練を毎年行っています。

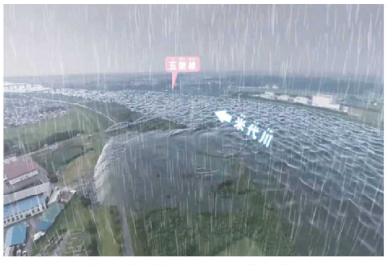

米代川洪水対応演習


総合防災訓練

VRを活用した防災教育

森吉山ダムの超過洪水時における下流河川の氾濫状況を全天球CGで作成しています。
HMD（ヘッドマウントディスプレイ）を用いてバーチャルリアリティとして体験することで、効果的に災害時の状況が理解できることから、防災教育等に活用しております。


VRによる災害体験の様子



河川氾濫イメージ映像

災害支援活動

災害対策現地情報連絡員（リエゾン）

国土交通省では、「地震、津波」「雪害」「火山災害」「水質事故災害」に加え、「飛翔体発射対応」「竜巻」「鳥インフルエンザ等」その他様々な災害事案に対し、防災業務を行っています。

重大な災害が発生し又は発生の恐れがある場合に災害支援活動の連絡窓口として、地方公共団体等の災害対策本部に派遣する現地情報連絡員です。東北地方整備局は、リエゾンより得られる情報をもとに、支援の必要性を判断し、災害対策車やTEC-FORCEなど状況に応じて派遣します。令和元年10月に発生した「令和元年東日本台風」では、甚大な被害を受けた福島県郡山市、福島県須賀川市へ、令和４年８月豪雨では秋田県三種町へ、令和５年７月は秋田県八峰町へ、令和６年７月豪雨は秋田県上小阿仁村へ、令和７年９月大雨は秋田県能代市へ職員を派遣し、被害状況や必要な支援などの情報の他、首長と整備局長とのつなぎ役として活動を行いました。



R6,7 月 上小阿仁村の被災状況確認


R6,7 月 上小阿仁村長との打合せ


R7,9 月 能代市の災害対策本部会議

緊急災害対策派遣隊（テックフォース：TEC-FORCE）

大規模な自然災害が発生した際、被災自治体が行う災害対策に対し、技術的な支援をする派遣部隊で、先遣班・被災状況調査班などの８班で構成されています。令和６年１月１日に発生した「令和６年能登半島地震」では、甚大な被害をうけた石川県穴水町へ隊員を派遣し、道路の被災状況調査を行うなど、被災地の早期復興に向けた支援を行いました。
また令和６年７月豪雨では秋田県上小阿仁村への隊員派遣を行いました。


穴水町での被災状況調査
【令和６年能登半島地震】


富山防災センターでの打合せ状況
【令和６年能登半島地震】


上小阿仁村での被災状況調査

災害対策車両

能代河川国道事務所では、豪雨による氾濫などの最前線へ駆けつけて排水作業を行う、排水ポンプ車を２台配備しています。排水能力としては25mプールを約10分で排水できます。また夜間作業には欠かせない、照明車も２台保有しています。

令和元年10月に発生した「令和元年東日本台風」では、甚大な被害を受けた福島県本宮市および宮城県栗原市の排水支援のため、ポンプ車１台を派遣しました。

令和２年７月の豪雨の際には、秋田県大仙市での排水支援のため、ポンプ車１台を派遣しました。


排水ポンプ車派遣

災害対策支援活動

令和６年７月に秋田県内を中心とした降雨により発生した水害への対策支援を行うため、排水ポンプ車１台、照明車１台を７月９日から７月１０日（２日間）まで秋田県大仙市へ派遣しました。


災害対策支援状況

日本風景街道　～のしろ白神の道～

ルート概要

東北風景街道協議会　令和2年度活動優秀賞

「のしろ白神の道」は秋田県北地域の国道７号や秋田自動車道を中心とした総延長約２００kmのルートです。
このエリアでは、日本三大美林の秋田杉や黒松といった針葉樹や、世界遺産である白神山地のブナ林など四季折々に表情を変える広葉樹を多く目にすることができます。また、そうした自然景観ばかりでなく、市民に「木のまち」を身近に感じてもらえるような場所を設けながら、新たな技術や研究成果を活用した「木の香る道づくり事業モデル地区」の取り組みを推進しています。

「のしろ白神の道」ルート図





令和2年度からルートの標示を開始しました

日本風景街道「のしろ白神の道」情報コーナー
「のしろ白神の道」の活動などを広く知ってもらうため、能代河川国道事務所内に情報所一なーを設けています。秋田杉を利用した木製品の展示も行っています。



「のしろ白神の道」ルート沿線の魅力を向上させるための取り組み

国道７号　黒松並木の剪定作業

国道７号の沿線に延長約1.5kmにわたって約150本の黒松が植栽されており、能代バイパス黒松友の会が、のしろ白神の道の黒松の剪定管理をボランティアで実施しています。





木製防護柵塗装イベント

国道７号沿い黒松並木付近に設置されている木製防護柵をボランティアの手できれいに塗り替えるイベントを平成２９年度から実施しています。





太平山 PA 活用イベント

大平山PA活用イベントは、能代山本地域への観光誘客を目的に平成２８年度から開催しています。秋田県はスギ人工林面積が全国１位、スギ素材生産量が全国２位を誇るスギの産地です。
その魅力を発信するべく、内装に秋田杉をふんだんに使用した大平山PAで、秋田杉の加工製品の展示・販売や地元食材の露店などイベントを行っています。





のしろ市民まちづくりフォーラム

ネットワークの活動紹介を含め、市民に広くまちづくり活動への賛同や参画を呼びかけるため、平成１８年度より毎年開催しています。
活動先進地から講師を招き、パネルディスカッションを実施。
例年、多くに市民・行政関係者が参加しています。





日本風景街道 ～のしろ白神の道 ビューポイントマップ～



①ビューシーライン

ビューポイントルートはこちら



④世界自然遺産白神山地二ッ森

ビューポイントルートはこちら



⑦白瀑（白瀑神社）

ビューポイントルートはこちら



②ポンポコ山公園（ラベンダー畑）

ビューポイントルートはこちら



⑤五能線冬景色（小入川橋）から

ビューポイントルートはこちら



③そば畑

ビューポイントルートはこちら



⑥御所の台（桜）

ビューポイントルートはこちら

八峰町

日本風景街道のしろ白神の道





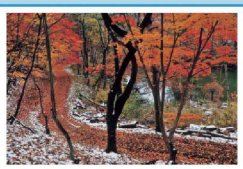
木の香る道づくりモデル地区（黒松並木と木製防護柵）

のしろ白神の道HPはこちら



①昼の農道

ビューポイントルートはこちら



④クアオルトの散歩道

ビューポイントルートはこちら



②夏の八郎湖

ビューポイントルートはこちら



⑤じゅんさい摘み採り体験

ビューポイントルートはこちら



③輝く田園

ビューポイントルートはこちら



⑥房住山の秋

ビューポイントルートはこちら

三種町



⑦釜谷浜

ビューポイントルートはこちら

※⑤じゅんさい摘み採り体験には事前予約が必要となっております。詳しくは三種町観光協会(0185-88-8020)へご連絡ください。

しろ白神の道 ビューポイントマップ

能代市からビューポイントまでの位置がGoogleマップで表示されます。



日本風景街道

住民、NPO、企業など地域が主体となって、行政と連携しながら、道を舞台に地域ならではの風景や自然、歴史、文化などの資源を活かした「美しい景観づくり」や「活力ある地域づくり」に取り組み、「地域の資源」と「活動する人たち」、「活動内容」、「活動の場」それらを総称して「風景街道」といいます。

能代山本地域ではのしろ白神ネットワーク(のしろ白神の道)が活動しています。

木の香る道づくりモデル地区

良好な景観形成、間伐材等木材資源の有効利用等の観点から自然公園等の景観形成上配慮すべき地域において、木製防護柵の整備など、道路事業における木材利用を推進するため、平成23年度からモデル地区に指定されています。

国土交通省 東北地方整備局 能代河川国道事務所

能代河川国道事務所ホームページ

URL https://www.thr.mlit.go.jp/noshiro/

二次元コード

能代河川国道事務所ホームページでは秋田県北地域の河川や道路の情報を配信しています。米代川や国道７号のライブ画像の配信は随時更新しています。秋田県北地域の新しい情報を地域の方へ早く、わかりやすく提供しています。



▼河川のライブカメラ

当事務所が管理する米代川の様子をリアルタイムで公開中です。
大雨時の河川状況の確認など様々な用途でご活用ください。



▼国道７号のライブカメラ



当事務所が管理する国道７号・秋田道の道路状況（15地点）をリアルタイムで公開中です。レジャー等でお出かけの前にご活用ください。





国道７号や米代川のライブカメラ映像や大雨・地震時の気象情報、冬みちの情報収集など防災に役立つ様々な情報をホームページやSNS・パンフレットなどで発信しています。



最寄りの河川の状況　直接把握
「川の水位情報（危機管理型水位計）」

きめ細かな水位の把握が可能！

https://www.river.go.jp/index



秋田の快適走行サポートサイト
「あきたのみち情報」

秋田県内の道路情報が満載！

road.pref.akita.lg.jp/modules/tinyd0/

当事務所では、事務所の事業に関する情報を、SNS〔旧Twitter)、Facebook、Instagram〕上で公開しています。
防災情報も随時発信しておりますので、大雨や大雪などの情報収集にご活用ください。



能代河川国道事務所　SNS

より地域の皆さんとつながるために・・・

X（旧 Twitter）　Facebook　Instagram

地域の情報発信 ～道の駅、森吉山ダム広報館～

重点道の駅「ふたつい」

秋田県で初めて河川防災ステーションを併設した道の駅として平成３０年７月にOPEN。令和４年度には「MIZBEステーション」に登録されました。

外国人観光案内所やキッズコーナーなど様々な施設の設置や展望デッキからは米代川を一望できます。

施設

道の駅のHPはこちら

森吉山ダム広報館 しきみん

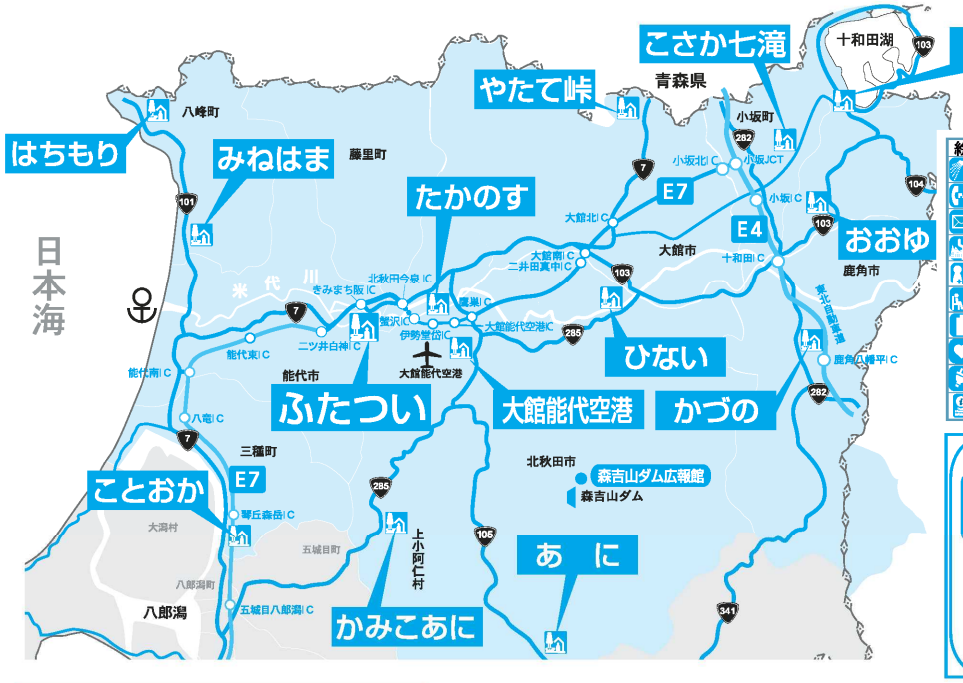


森吉山ダム広報館は、ダムに関する情報や地域の自然・歴史・文化・風土、周辺地域の観光情報などを提供しています。展望テラスからは、ダム湖と周辺の雄大な自然が一望できます。お気軽にお立ち寄りください。

森吉山ダム広報館：開館時間９：００～１６：００（※１）、喫茶コーナー「ねもりだ」：営業時間１０：００～１５：３０（※２）、駐車場：２０台　電話０１８６－８４－８５９０

※１）毎週水曜日休館、冬期閉館（１２月～３月）

※２）土日祝日のみ営業（変更となる場合あり。事前にご確認ください。）



絵	意　味
	シャワー
	ファックス
	郵　便
	体験施設
	オストメイト対応トイレ
24	24時間開放情報休憩施設
	授乳スペース
	ＡＥＤ
	ＥＶ充電施設
	JNTO認定外国人観光案内所

絵	意　味
P	駐車場
	トイレ
	身障者用施設
	無線LAN
	店舗・売店
	レストラン
	軽食・喫茶
	休憩所
	情報コーナー
	公　園
	乳幼児用施設
	展望地
	博物館・美術館
	温　泉
	スポーツ施設
	宿泊施設

道の駅 十和田湖 Towadako



道の駅のHPはこちら

道の駅 たかのす Takanosu



道の駅のHPはこちら

道の駅 やたて峠 Yatatetouge



道の駅のHPはこちら

道の駅 はちもり Hachimori



道の駅のHPはこちら

道の駅 かづの Kazuno



道の駅のHPはこちら

道の駅 ことおか Kotooka



道の駅のHPはこちら

道の駅 かみこあに Kamikoani



道の駅のHPはこちら

道の駅 みねはま Minehama



道の駅のHPはこちら

道の駅 あ　に Ani



道の駅のHPはこちら

道の駅 ひない Hinai



道の駅のHPはこちら

道の駅 こさか七滝 Kosaka nanataki



道の駅のHPはこちら

道の駅 大館能代空港 Oodate-Noshiro kukou



道の駅のHPはこちら

道の駅 おおゆ Oyu



道の駅のHPはこちら

能代河川国道事務所に関わる 二次元コード一覧

事務所 ＨＰ

事務所 X(旧 Twitter)

事務所 Facebook

事務所 Instagram

防災に役立つ情報も満載です。是非ご覧ください。





国土交通省東北地方整備局
能代河川国道事務所

〒016-0121 秋田県能代市鰄渕字一本柳97-1

URL https://www.thr.mlit.go.jp/noshiro/

E-mail thr-noshiro01@mlit.go.jp

総務課 TEL.0185-70-1163 FAX.0185-70-1118	流域治水課 TEL.0185-70-1176 FAX.0185-70-1141
経理課 TEL.0185-70-1170 FAX.0185-70-1165	調査課 TEL.0185-70-1194 FAX.0185-70-1141
用地課 TEL.0185-70-1212 FAX.0185-70-1064	河川管理課 TEL.0185-70-1246 FAX.0185-70-1126
工務第一課 TEL.0185-70-1174 FAX.0185-70-1148	道路管理課 TEL.0185-70-1275 FAX.0185-70-1143
工務第二課 TEL.0185-70-1248 FAX.0185-70-1273	

担当がわからない場合は
TEL.0185-70-1001（代表）
へおかけください

二ツ井出張所
〒018-3103 能代市二ツ井町荷上場字中島26 TEL 0185-73-5432 FAX 0185-73-5090

鷹巣出張所
〒018-3301 北秋田市綴子字柳中9-1 TEL 0186-62-1226 FAX 0186-63-0991

森吉山ダム管理支所
〒018-4512 北秋田市根森田字姫ヶ岱31 TEL 0186-60-7231 FAX 0186-60-7232

大館国道出張所
〒017-0864 大館市根下戸新町1-68 TEL 0186-49-0321 FAX 0186-43-5819

能代国道維持出張所
〒016-0121 能代市鰄渕字一本柳97-1 TEL 0185-58-2919 FAX 0185-58-3149

R100 古紙配合率100%再生紙を使用
2026.7